

給湯暖房用熱源機

取扱説明書

	型式名	品名	B L 品番
全自動タイプ	GH-244ZW (-N)	GH-244ZW	XT-4202ARS-AWQ
		GH-244ZWH	XT-4202ARS-AW6Q
	GH-244ZT (-N)	GH-244ZT	XT-4202ARS4-AWQ
		GH-244ZTH	XT-4202ARS4-AW6Q
	GH-244ZB (-N)	GH-244ZB	XT-4202ARS8-AWQ
		GH-244ZBH	XT-4202ARS8-AW6Q
	GH-244ZU (-N)	GH-244ZU	XT-4202ARS9-AWQ
		GH-244ZUH	XT-4202ARS9-AW6Q
	GH-244ZK	GH-244ZK	XT-4202ARS5-AWQ
		GH-244ZKH	XT-4202ARS5-AW6Q
	GH-S245ZW (-N)	GH-S245ZW	XT-4702ARS-AWC
		GH-S245ZWH	XT-4702ARS-AW6C
自動タイプ	GH-S245ZT (-N)	GH-S245ZT	XT-4702ARS4-AWC
		GH-S245ZTH	XT-4702ARS4-AW6C
	GH-S245ZB (-N)	GH-S245ZB	XT-4702ARS8-AWC
		GH-S245ZBH	XT-4702ARS8-AW6C
	GH-S245ZU (-N)	GH-S245ZU	XT-4702ARS9-AWC
		GH-S245ZUH	XT-4702ARS9-AW6C
	GH-S245ZK	GH-S245ZK	XT-4702ARS5-AWC
		GH-S245ZKH	XT-4702ARS5-AW6C
	GH-244AW (-N)	GH-244AW	XT-4202ARS-SWQ
		GH-244AWH	XT-4202ARS-SW6Q
	GH-244AT (-N)	GH-244AT	XT-4202ARS4-SWQ
		GH-244ATH	XT-4202ARS4-SW6Q
	GH-244AB (-N)	GH-244AB	XT-4202ARS8-SWQ
		GH-244ABH	XT-4202ARS8-SW6Q
	GH-244AU (-N)	GH-244AU	XT-4202ARS9-SWQ
		GH-244AUH	XT-4202ARS9-SW6Q
	GH-244AK	GH-244AK	XT-4202ARS5-SWQ
		GH-244AKH	XT-4202ARS5-SW6Q

このたびは給湯暖房用熱源機をお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくご使用ください。

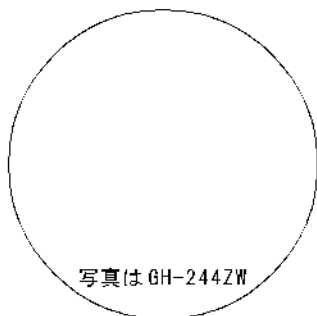
この給湯暖房用熱源機には保証書が付いています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、最寄りのガス会社へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。



写真は GH-244ZW

もくじ

ページ

この製品の特長	1
安全に正しくお使いいただくために	2
この取扱説明書の表示について	2
機器本体の表示について	2
必ずお守りください	2
各部の名称とはたらき	8

ご利用前の準備	12
機器の準備	12
リモコンを「入」にする	12
現在時刻を合わせる	12

自動でおふろを沸かすには	13
おふろ沸かしを途中で停止したいときは	14
沸かし直しをするには	14
ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセットするには	15
ふろ温度の設定	15
保温時間の設定	16
ふろ水位の設定	16
おふろのお湯を熱くするには(追いだき)	17
おふろのお湯をぬるくするには	18
おふろのお湯をたしたいときには	19
おふろが沸く時刻を予約するには	20
予約運転をする前に	20
予約時刻の合わせ方	20
予約運転を「入」にする	21
予約に関するその他の操作	22
お湯を使うには	23
残り湯を洗濯などに利用する(ポンプ運転)	25
省電力機能について	26
暖房運転をするには	27
放熱器の運転/停止	27
暖房スイッチ付台所リモコン(MC-624)での運転/停止	27
浴室予備暖房について	28
浴室予備暖房の運転/停止	28
静音暖房について	29
静音暖房の設定/解除	29
チャイムや音声ガイドの音量を調節する	29

冬期の凍結予防をするには	30
点検のポイント・お手入れのしかた	33
故障かな?と思ったら	35
アフターサービスについて	38
仕様一覧	39

お使いいただく前には
はじめて使うときには

使い方

長くお使いいただくために

この製品の特長

快適な「お湯のある暮らし」のための便利な機能を豊富に揃えました。どうぞお役立てください。

便利です!

- お風呂もシャワー・給湯も暖房も、これ1台でOK。
- スイッチオン!の簡単操作でお風呂が沸かせます。
(→P. 13 参照)
- 予約タイマー付きだから、忙しい方もお好きなときにバスタイム。
(→P. 20 参照)

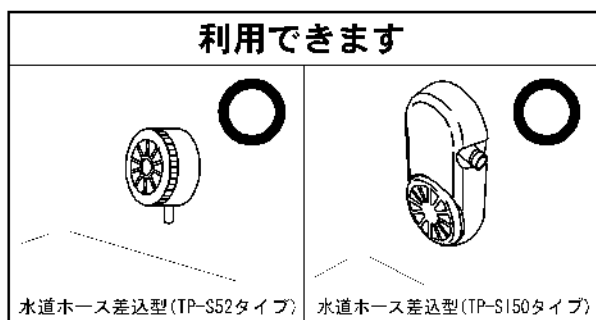


- 浴室から台所や他の部屋にいる人を呼び出すことができます。
浴室リモコンの呼び出しスイッチを押す



環境にもやさしい!

- 残り湯はポンプ運転で洗濯機へ。水の節約(省資源)になります。
(→P. 25 参照)
- (※浴槽の循環口の種類によって利用できない場合があります。)



- リモコンは待機時の消費電力を低減するため、未使用時に画面表示を消す、省電力機能付きです。
(→P. 26 参照)
- GH-S245ZWシリーズ、GH-S245ZWHシリーズは、熱効率が95%と高いので、ガスをより効果的に使い、環境面でもCO₂削減に貢献します。

快適です!

- お風呂のお湯の温度を自動的に保温します。
また、全自動タイプは水位が下がったら、たし湯します。
いつも快適なお風呂です。
(→P. 14 参照)



※自動タイプは保温のみで、たし湯はしません。



- この機器は、取り付けるリモコンのタイプをお選びいただけます。ただし、体脂肪率測れるリモコンは全自動タイプのみでの使用となります。
- この取扱説明書では、標準タイプの浴室リモコン(FC-613)、台所リモコン(MC-623, MC-624, MC-625)増設リモコン(SC-623)について説明しています。
- 標準タイプ以外のリモコンを取り付けているお宅では、リモコンに付属されているリモコン操作方法の取扱説明書をよくお読みください。



- この機器は、下記のユニット等と接続して使用することができます。取り付けているお宅では、各ユニットに付属の取扱説明書をよくお読みください。

洗濯注湯ユニット 洗濯&トイレ注水ユニット
トイレ注水ユニット 即湯ユニット
ソーラーユニット

- 全自動タイプは、お風呂のお湯を排水したときに、自動的にふろ配管内の残り湯を流し出す機能があります。
ふろ自動運転終了後、浴槽のお湯(水)を排水するとふろ配管の残り湯を、きれいなお湯(水)約6リットルを流して浴槽の循環口から排出します。
浴槽の残り湯が循環口より上にあった場合に、はたらかず。

安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただき万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険性が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵表示については次のような意味があります。



一般的な禁止



火気厳禁



接触禁止



分解禁止



必ず行う



電源プラグを抜く



アースを接続せよ

お願い

ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX 参照)

参照ページを示しています。

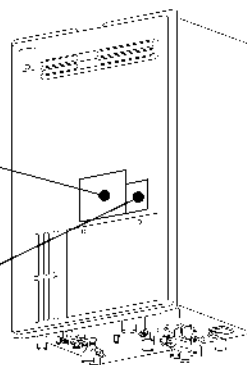
■機器本体の表示について■ (図は、GH-244ZWHを示します。)

使用上の注意

- 使用上の注意について表示しています。

銘板

- 品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



必ずお守りください (安全上の注意)

安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください。

⚠ 危険

屋内設置の禁止

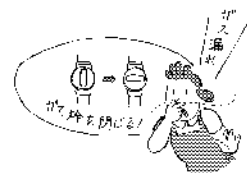
- この機器は屋外設置形ですので絶対に屋内に設置しない。燃焼ガスが室内に充満したり正常な給排気ができないため異常燃焼し、酸欠や一酸化炭素中毒などの原因になります。

ガス漏れ時の処置

- ガス漏れに気づいたときは、機器の使用を中止し、ガス栓を閉じてからお買い上げの販売店、または最寄りのガス業者に連絡する。
 - ①給湯栓を全て閉じる。
 - ②ガス栓を閉じる。
- すべての処置が終るまでの間絶対に火をつけたり電気器具(換気扇その他)のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差しおよび周辺の電話を使用しない。炎や火花で引火し火災のおそれがあります。



火気厳禁



必ずお守りください

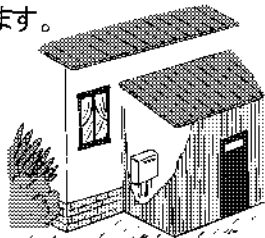
警告

機器設置（および付帯工事）

- この機器は屋外設置形ですので、増改築などによって屋内状態にしない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止



- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。

囲い禁止

- 設置後、機器や排気口を波板やビニールなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

給排気口の周囲

- 給排気口の前方にものを置かない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。接続は配管技能者が行いますので、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご相談ください。

機器本体に無理な力を加えない

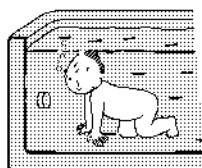
- 機器本体やガスの接続部などに乗らない。けがや機器の変形による故障のおそれがあります。

地震・火災などの緊急時の場合

- 迅速に使用を中止し、ガス栓を閉じる。

お子様には十分な注意を

- 浴槽の循環口の付近で湯（水）に潜ったりしない。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。思わぬ事故につながる可能性があります。



- 浴槽にお湯張りしているときや沸かしているときに、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。



使用ガス、使用電源の確認

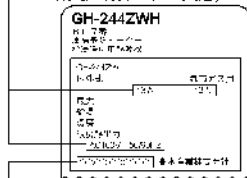
- 機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧・周波数）で機器を使用してください。ガス種および電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。

- 転居時の注意は（→P. 38 参照）

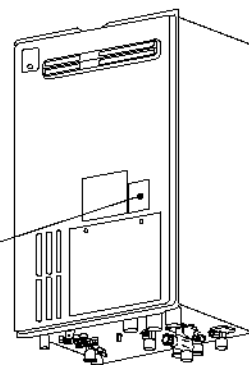


- この機器はAC100V 50/60Hz共用です。

この部分を必ずご確認ください。
(※) 電圧・周波数・ガス種が一致しない場合は、

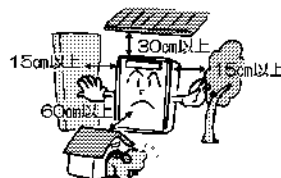


製造年月を示しています。
例: 02.06 → 2002年6月の製造

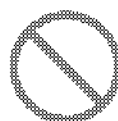


火災予防のために必ず守ること

機器周辺のものは常に図の離隔距離を確保する。



- 機器および排気口の周辺には紙や木材など燃えやすいものを置かない。火災の原因となります。
- 機器の周辺ではガソリン、ベンジン、スプレーなど引火性危険物を使用しない。引火して火災を起こすおそれがあります。
- 機器の周辺や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベを置かない。熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。
- 排気口は洗濯物などでおおわない。不完全燃焼の原因となります。



禁止



分解禁止

分解禁止

- お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わない。異常作動して事故の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために、
この内容は必ずお読みください。

お使いいただく前に

異常時の処置について

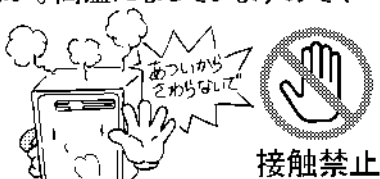
- ① 給湯栓を開けても点火しない場合、また、使用途中で火が消える場合は、ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
- ② 本書の「故障かな?と思ったら」(35～37ページ)に従って処置をする。
- ③ 上記の処置をしても直らない場合、または、使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合は、使用を中止してお買い上げの販売店または最寄りのガス会社へ連絡する。



給湯栓・ガス栓を閉じる

機器本体でのやけどに注意

- 機器の使用中心または使用後しばらくは、排気口とその周辺部に絶対に手を触れない。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。



接触禁止

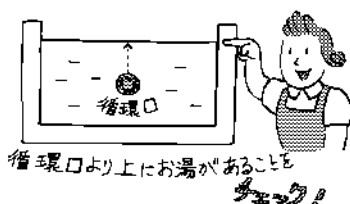
注意

用途についての注意

- 一般家庭での台所・シャワー・洗面などへの給湯、おふろ沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。
振動により機器が転倒し、火災や機器故障の原因になります。
- ユニットを取り付けた際は、ユニットの用途以外には使用しない。(ユニットに付属の取扱説明書をよくお読みください。)

空だき防止

- 追いだきスイッチを押すときは、必ず浴槽の循環口より上に湯(水)が入っていることを確かめる。
水位が循環口より低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷などの原因になることがあります。



長期間使用しない場合

- 長期間使用しないときは、ガスの元栓を閉じてください。

本体周辺の防火措置

- 本体の周辺は整然としてください。

給湯・シャワー使用時、入浴時の注意

- ① シャワーなどお湯を使う場合は最初に熱いお湯が出るがあるので注意する。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ② 給湯使用時は出湯管(蛇口)が熱くなるので、やけどに注意する。
- ③ お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、給水圧が下がったとき、あるいは、万一機器が故障した場合には、一瞬熱いお湯が出ることもある。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- ④ シャワー・給湯使用中は、使用者以外はお湯の温度を変更しない。突然、熱湯や冷水が出て思わぬ事故につながる可能性があります。
- ⑤ 浴槽に入るときは、手でお湯の温度を確認して入浴する。また、浴槽中のお湯は上下に温度差があることがありますのでご注意ください。
- ⑥ おふろ沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、循環口アダプター付近は熱くなることがあるので注意する。



手で温度を確かめる



電気事故防止

- 電源コードを加工したり無理な力を加えない。感電・ショートや発火による火災のおそれがあります。
- 傷んだプラグやコードは使わない。
差込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- 電源プラグのほこりは、拭き取る。
発火の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグをさわらない。感電のおそれがあります。



禁止

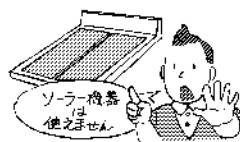
- コンセントから電源プラグを抜くときは、プラグを持って抜く。コードを引っ張ると内部で断線して発熱や発火の原因になります。
- この機器は接地工事(アース)が必要なので、アースがされているか確認する。



アースを接続せよ

ソーラー機器について

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。(ソーラーユニットを使用する場合は除く) 夏期にソーラーの水温が高くなるとお湯の温度制御ができなくなり、高温のお湯がそのまま出ます。やけどをしたり機器の故障原因になります。



禁止

必ずお守りください

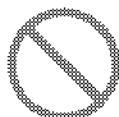
お願い

市販の補助用具について

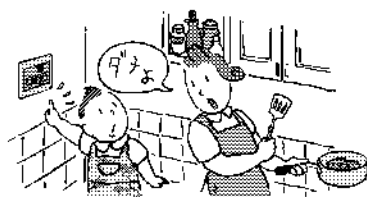
- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫水栓を使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。
- やけど対策上、サーモスタット付混合水栓の使用をお勧めします。
- 混合水栓にはさまざまな種類があります。使用方法は、混合水栓の取扱説明書をご覧ください。

リモコンの扱いについて

- 台所リモコンには水をかけないでください。
浴室リモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。スピーカー一部に水がかかると音声小さくなる場合があります。
- リモコンはお子様がいたずらしないよう注意してください。



禁止



断水のと

- 断水のときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。

電源プラグを抜かない

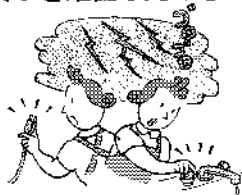
- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。

雷が発生しているときの注意

- 雷が鳴り始めたらすみやかに運転を停止し、感電に注意して電源プラグをコンセントから抜いてください。雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。
- 30分以上電源プラグをコンセントから抜いた場合は、リモコンの各設定（給湯温度・ふろ温度・ふろ水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認したのちご使用ください。



電源プラグを抜け



雷が鳴ったあと機器が作動しないとき

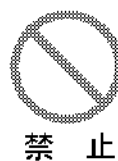
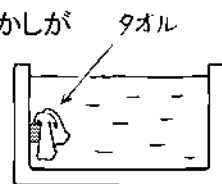
- 落雷の際に、機器内の漏電リレーが作動したことが考えられます。この場合は電源プラグを一度コンセントから抜き、再度差し込んでください。それでも使用できないときはお買い上げの販売店または、最寄りのガス会社へご連絡ください。

飲用にお使いのときは

- 機器内に長時間たまった水（たとえば朝一番の使い始めのぬるい湯が出るまで）は、飲まないで雑用水としてお使いください。

入浴時の注意

- 循環口を外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良によりお風呂沸かしが
できなくなったり、
機器の故障原因
になります。



禁止

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP. 30「冬期の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

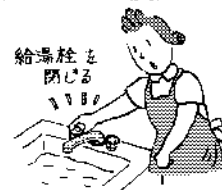
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額な修理費がかかります（有料）。
- 凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P. 31「再使用するとき」の項以下の操作を行ってください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。
- 停電時は給湯栓を閉じてください。



給湯栓を閉じる



- 再通電したときは、リモコンの設定（給湯温度・ふろ温度・ふろ水位・現在時刻・予約時刻等）を行い、表示を確認したあとご使用ください。
- 30分以上の停電のときは、リモコンの再設定が必要です。
- 自動でお風呂を沸かしているときに、停電になると、自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。通電後、再度、運転スイッチを押し、自動スイッチを押してください。（→P. 13 参照）

この機器は一般家庭用です

- 業務用のような使いかたをされると機器の寿命を著しく縮めます。この場合の修理は保証期間内でも有料となります。

日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください（詳しくはP. 33をご覧ください）。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店または、最寄りのガス会社へご連絡ください。
- 循環口フィルターはこまめに掃除してください。浴槽内の循環口フィルターが詰まると、浴槽の湯温が不均一になったり、沸き上がる前に消火することがあります。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分（湯アカ）により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水（10%程度）等で拭き取ってください。
- オーバーフロー配管の先からスムーズに排出されるか点検してください。ゴミ等によって閉鎖されている場合は掃除を行ってください。（GH-S245ZWシリーズ、GH-S245ZWHシリーズは高効率のため、排水量が多くなっています）

長期間使用しないときは

- この取扱説明書P. 30の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



お願い 設置する場所や状況について

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音（燃焼音、燃焼用送風機、ポンプ回転音）で迷惑にならない場所に設置してください（工事担当者にご相談ください）。
- 足場などを組んだり、ハンゴ・脚立を使わなければメンテナンスができない高所などに設置しないでください。メンテナンスをお断りすることがあります。

排気ガス

- 排気ガスが直接建物の外壁やアルミサッシなどに当たらないよう施工してください。外壁が変色したりアルミサッシが腐食したりするおそれがあります。
- 排気口の周囲には、排気口からの排気ガスによって加熱されて困るもの（危険物・植物・ペットなど）を置かないでください。（寒い日は排気ガスが白い煙のように見えることがあります）

ほこり

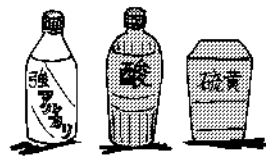
- 砂や油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所には設置しないでください。ほこりが給気口をふさいだり、燃焼用の送風機の性能を低下させ、不完全燃焼の原因となります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認し機器への悪影響がないものをご使用ください。
- ふろ用洗剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、フィルターやお湯の通路にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などがフィルターや機器内部につまることがありますので、ご使用を避けてください。



禁止



ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることをリモコンの燃焼表示で確認してください。

通水使用の禁止

- 運転スイッチを切った状態で、給湯栓を開けて水を出したり、シャワーを浴びないでください。機器の寿命を短くします。

給排気について

- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。（ただし、オーバーフロー配管は除きます）

地下水や温泉水、井戸水の注意

- この機器は上水道用です。水質によっては、機器内の配管内部に異物が付着するなど耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。この場合、保証期間内でも有料修理となります。

塩害

- 海岸近くに設置するときは、潮風にさらされる場所を避けてください。機器が腐食し、故障の原因になります。

必ずお守りください

⚠ 警告 床暖房についての注意

やけどに注意

- 長時間、皮膚の同じところに触れて使用しない。低温やけどの原因となります。

〈次のような方は特に注意〉

- ・お子様
- ・深酒、疲労の激しい方
- ・お年寄り
- ・皮膚の弱い方
- ・眠気を誘う薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された方
- 乳幼児や身体の不自由な方には付き添いなしでは使用しない。低温やけどのおそれがあります。



⚠ 注意

床についての注意

床に水などがこぼれたらすみやかに拭きとる

- 床面に水・薬品・しょう油などをこぼしたままにしておきますと、床暖房の放熱板が腐食することがありますので、すみやかに拭きとってください。



床へは衝撃を加えない

- 床が破損し、水漏れのおそれがあります。

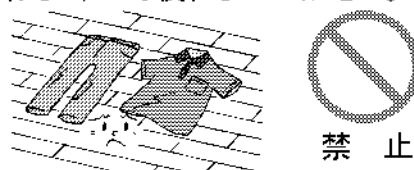


床仕上材の上に敷物を敷かない

- 木質フローリングをお使いの場合、カーペットなどの敷物を敷かないでください。性能が発揮できない場合や、床暖房の熱がこもって、フローリングが変形、変色することがあります。

用途についての注意

- 床暖房を他の目的に使用しない。
特殊な用途（例えば衣類の乾燥や動物の飼育、植物の栽培、食品の保存など）には使わないでください。



床下防腐処理について

- 床暖房および配管類に処理剤が付着すると腐食することがありますので注意してください。

火災予防

- 床暖房の上にスプレー缶・ライター等を置かない。爆発や火災のおそれがあります。



床についての注意

- 床暖房を設置している床面に、突起物（釘・画びょう・きり・ダニ防虫剤の注射針・はさみなど）を落としたり刺したりしないでください。水漏れの原因になります。

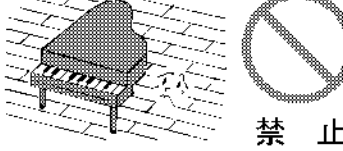


家具などを直接床に置かない

- 床暖房の上に、調度品・家具などを置きますと家具等に熱がこもり、ひずみ等が発生するおそれがあります。

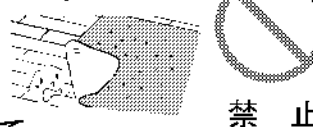
重いものはそのまま置かない

- ピアノなど重量物にはパットなどを敷いて一箇所に荷重がかからないよう設置してください。床が破損し、水漏れのおそれがあります。



ホットカーペットとの併用はしない

- 床仕上材が変形、変色するおそれがあります。



カーペットの張替えについて

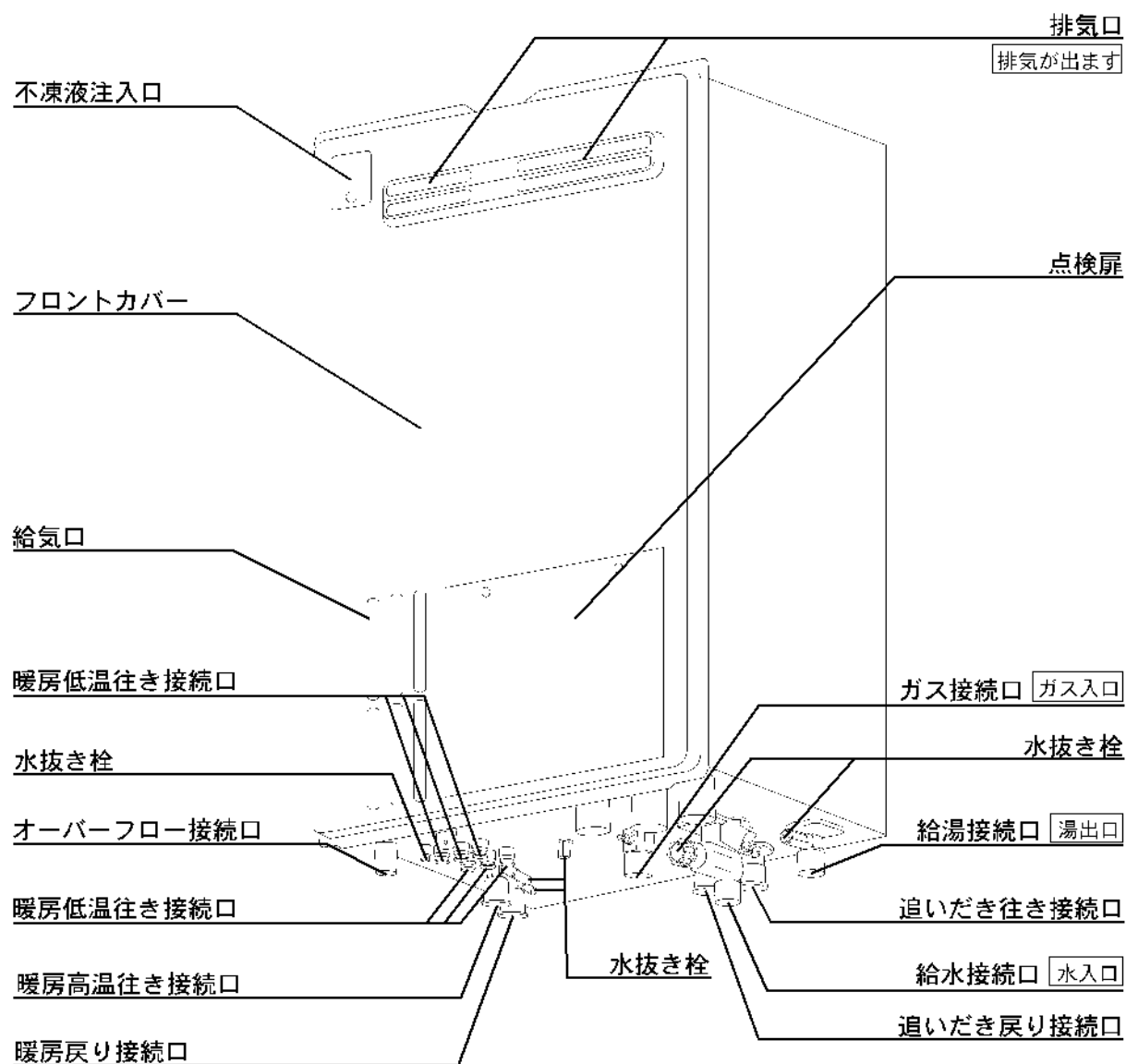
- 張替えする場合には床暖房専用のものを使用し、床暖房を破損しないように両面接着テープかグリッパーにて固定するようにしてください。釘あるいはびょうで固定するのは避けてください。また、交換を考えて、全面接着することは避けてください。



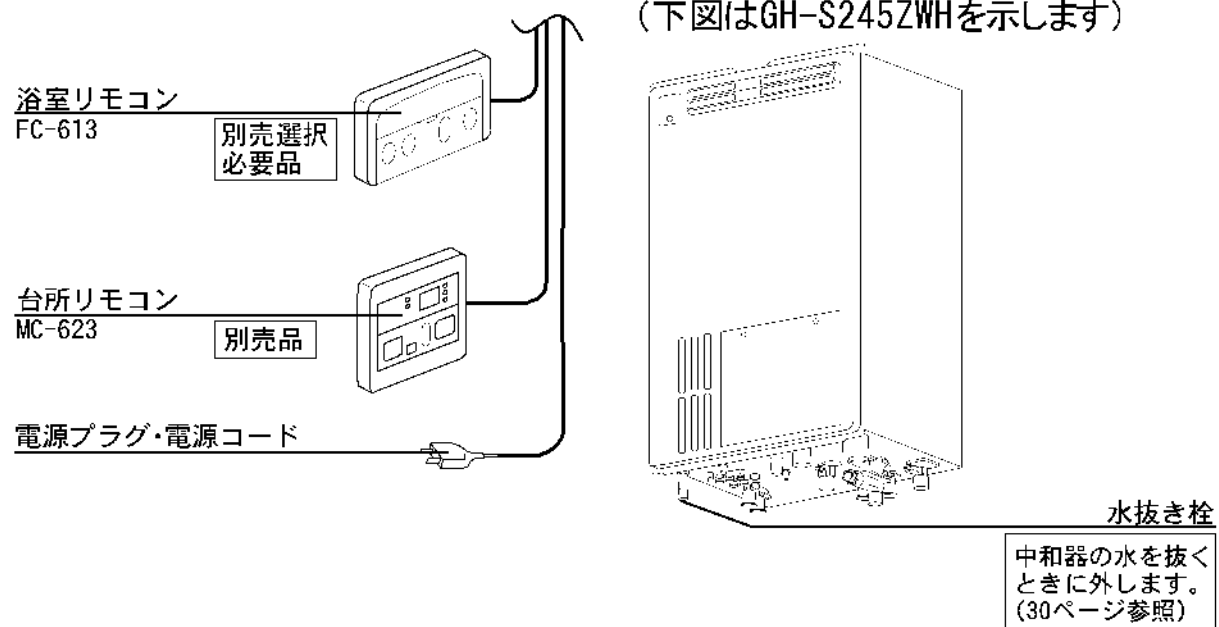
床暖房以外の放熱器についての注意は、放熱器の取扱説明書にあります。放熱器の取扱説明書をよくお読みください。

各部の名称とはたらき

■機器本体 (図はGH-244ZWHを示します)



(下図はGH-S245ZWHを示します)

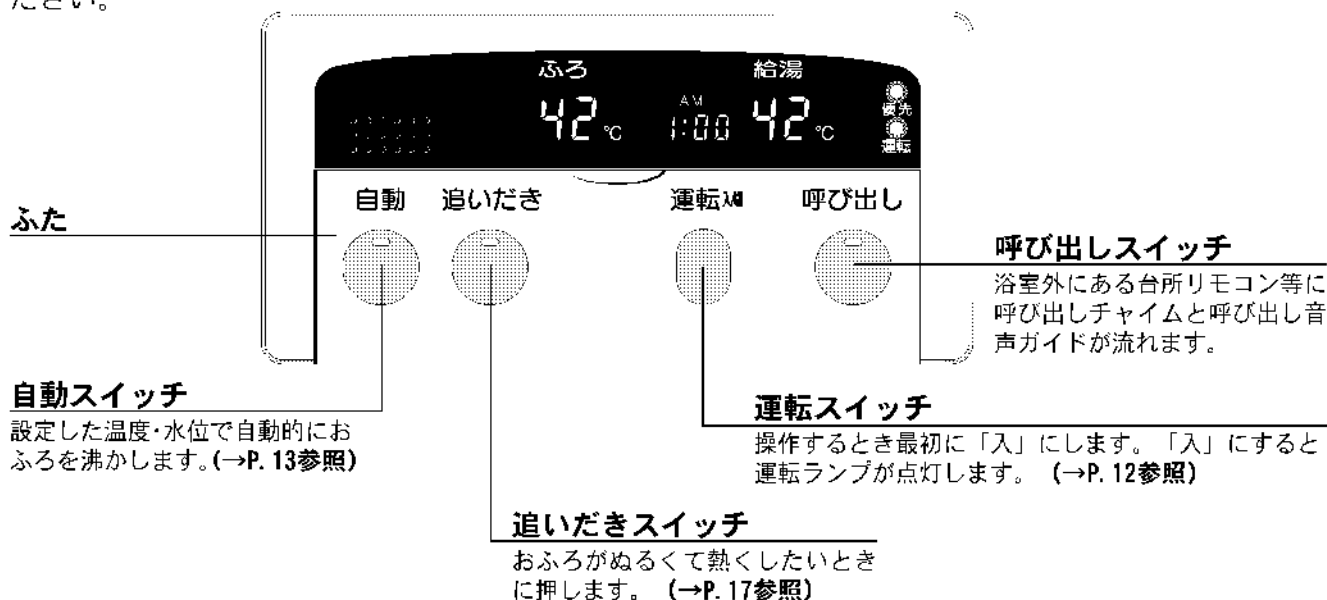


各部の名称とはたらき

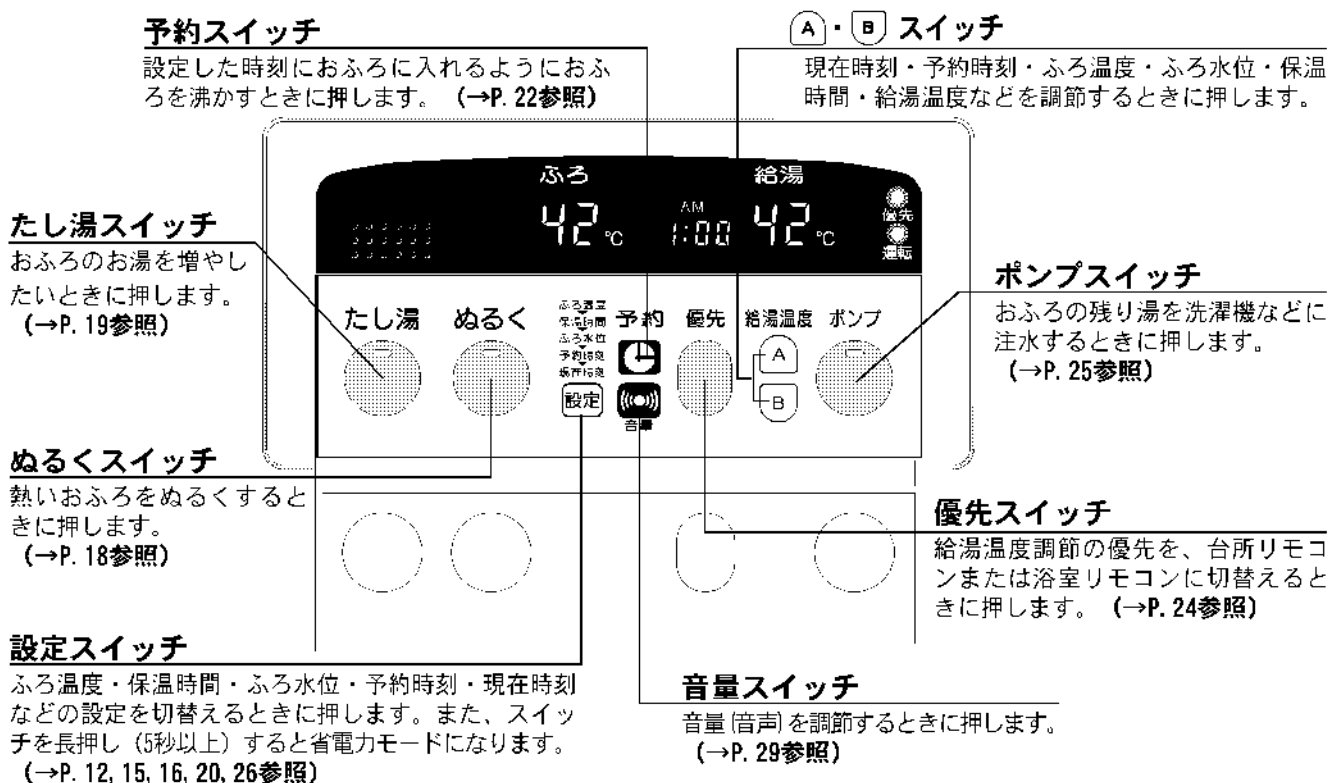
標準タイプ以外のリモコンを取り付けている場合は、リモコンに付属の取扱説明書をご覧ください。

■浴室リモコン(浴室に取付けます) FC-613 (別売選択必要品)

給湯やおふろ沸かしなど、すべての操作を浴室リモコンで行います。別売の台所リモコン・増設リモコンを使うと、台所や他の部屋から操作(一部の操作)することもできます。通常はふたを閉じておいてください。



浴室リモコンのふたを開けると、以下のようなスイッチがあります。



給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示は左右に動いて、燃焼していることをお知らせします。

給湯燃焼表示・ふろ燃焼表示の補足説明

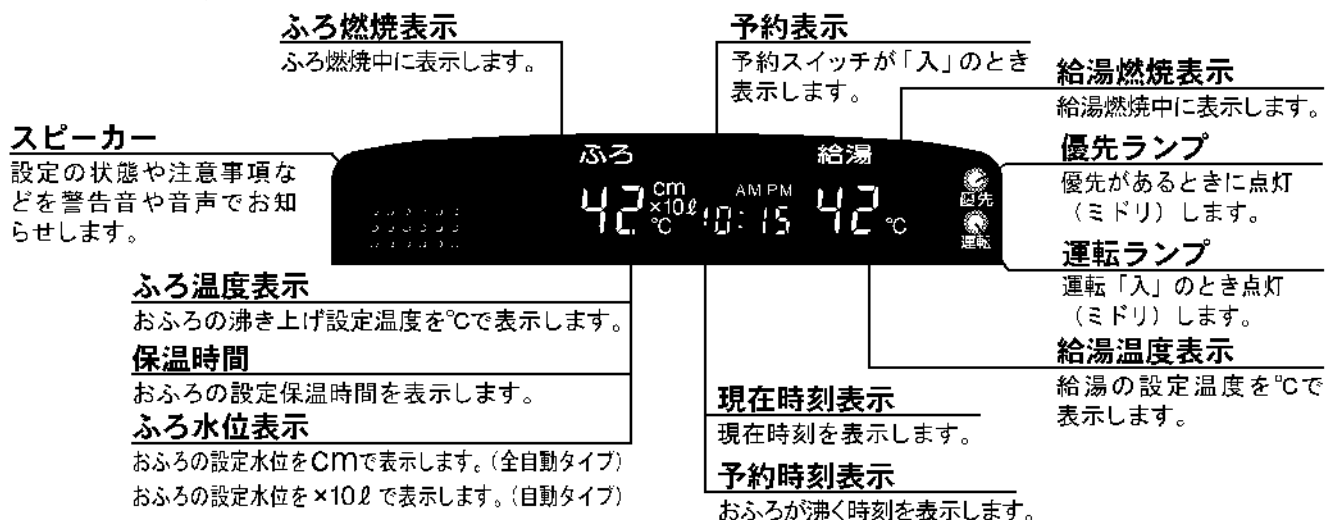


燃焼中は左右に動きます。

■浴室リモコンの画面表示 FC-613 (別売選択必要品)

浴室リモコンの画面表示には以下のようなものがあり、設定した内容を確認することができます。

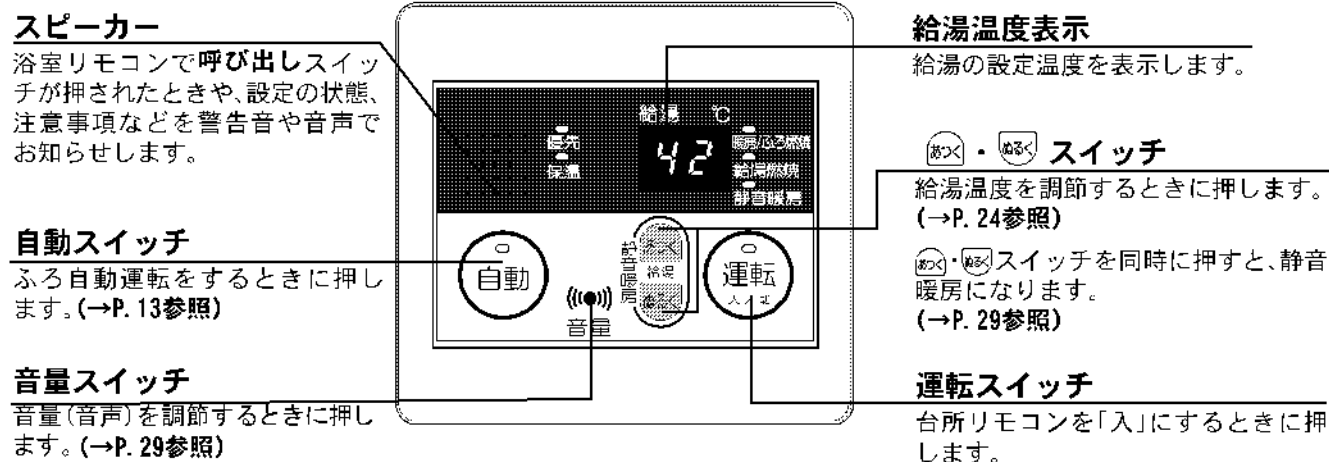
※図のリモコンの画面表示は説明用で、実際の運転状態を示すものではありません。



■台所リモコン MC-623 (別売品)

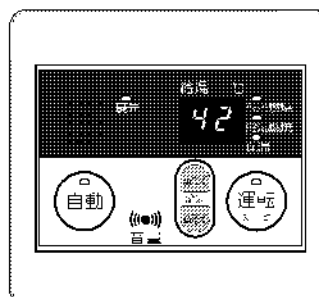
給湯暖房用熱源機用の台所リモコンです。

給湯温度の設定やおふろ沸かしの自動運転・予約運転などの操作ができます。また、暖房使用中の運転音が気になるときには、静音暖房にすることもできます。



■増設リモコン SC-623 (別売品)

浴室や台所以外の部屋から、運転スイッチの「入」／「切」・給湯温度調節・自動運転が操作できます。



各部の名称とはたらき

■台所リモコン MC-624 (別売品)

給湯暖房用熱源機の暖房スイッチ付台所リモコンです。

給湯温度の設定やおふろの自動運転などの操作ができます。また、暖房運転の「入」/「切」や、暖房運転中の運転音が気になるときには、静音暖房にすることもできます。

スピーカー

浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときや、設定の状態、注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

暖房スイッチ

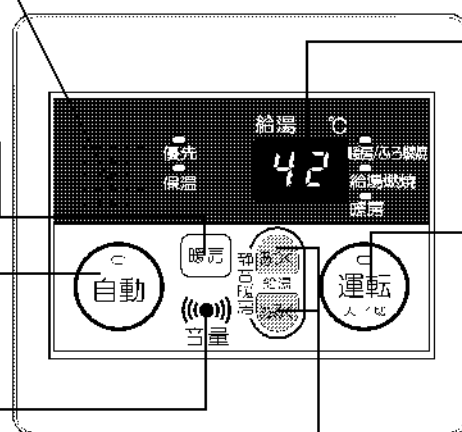
暖房運転をするときに押します。
(→P. 27参照)

自動スイッチ

ふろ自動運転をするときに押します。
(→P. 13参照)

音量スイッチ

音量 (音声) を調節するときに押します。
(→P. 29参照)



給湯温度表示

給湯の設定温度を表示します。

運転スイッチ

台所リモコンを「入」にするときに押します。

あつ・ぬる スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。(→P. 24参照)

あつ・ぬる スイッチを同時に押すと、静音暖房になります。
(→P. 29参照)

■台所リモコン MC-625 (別売品)

給湯暖房用熱源機の浴室予備暖房スイッチ付台所リモコンです。

給湯温度の設定やおふろの自動運転などの操作ができます。また、浴室暖房乾燥機の「入」/「切」や、暖房運転中の運転音が気になるときには、静音暖房にすることもできます。

スピーカー

浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときや、設定の状態、注意事項などを警告音や音声でお知らせします。

浴室予備暖房スイッチ

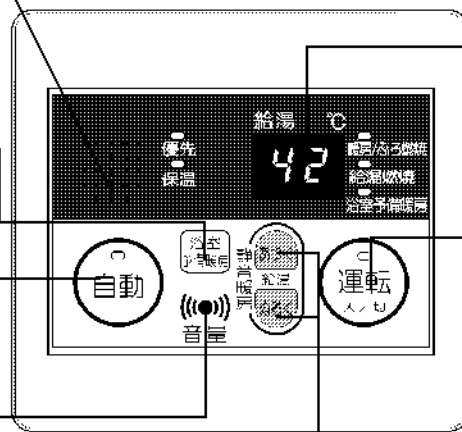
浴室暖房乾燥機「入」にするときに押します。(→P. 28参照)

自動スイッチ

ふろ自動運転をするときに押します。
(→P. 13参照)

音量スイッチ

音量 (音声) を調節するときに押します。
(→P. 29参照)



給湯温度表示

給湯の設定温度を表示します。

運転スイッチ

台所リモコンを「入」にするときに押します。

あつ・ぬる スイッチ

給湯温度を調節するときに押します。(→P. 24参照)

あつ・ぬる スイッチを同時に押すと、静音暖房になります。
(→P. 29参照)

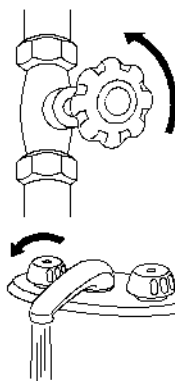
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋外にある機器の準備をします。以下のような手順で準備ができれば、リモコンのスイッチを入れてみましょう。

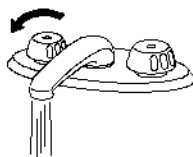
■機器の準備

1 この取扱説明書のP. 33の内容に従って、機器や機器周辺の点検 確認を行います。

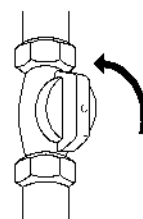
2 給水元栓を全開にします。
機器の下部にあります。



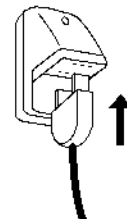
3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。



4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。



5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。



■リモコンを「入」にする [台所リモコンの図は暖房スイッチがついていない(MC-623)で説明します。]

1 浴室リモコンまたは台所リモコンの**運転スイッチ**を押します。

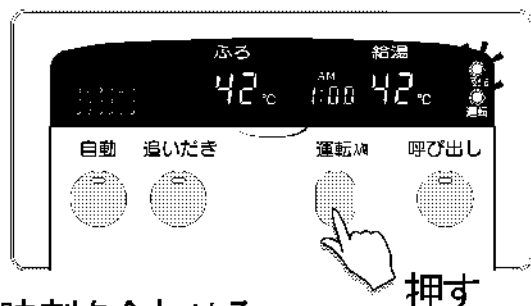
リモコンの画面が図のようになり、**運転ランプ** (ミドリ) が点灯します。

運転スイッチを押したリモコンには、**優先ランプ** (ミドリ) が点灯します。

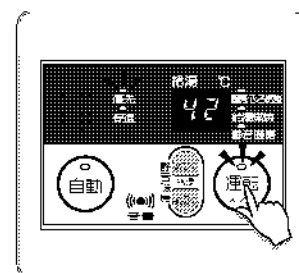
ふろ、給湯を使わないときは、**運転スイッチ**をもう一度押します。

リモコンが「切」の状態になり、画面表示とランプが消えます。

画面表示
運転ランプ
優先ランプが点灯



画面表示
運転ランプ
優先ランプが点灯

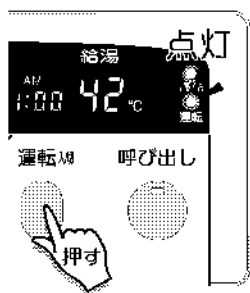


押す

押す

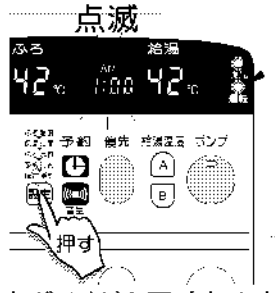
■現在時刻を合わせる

1 **運転スイッチ「入」**を確認します。



「入」になっていないときは、**運転スイッチ**を押します。

2 **設定スイッチ**を押します



音声ガイドが2回流れます。

“現在時刻です。”

Aを押すと時の位が変わります。

Bを押すと分の位が変わります。”

3 現在時刻を設定します

A — 時の位 ※スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。
B — 分の位

現在時刻表示が点滅している間 (約5秒間) に押してください。

設定したあと何もスイッチを押さずに、5秒たつと、現在時刻の点滅が止まり、音声ガイドが“現在時刻セットされました”とお知らせします。



●出荷時の時刻表示は「AM1:00」になっています。

●AM (午前)・PM (午後) に注意してください。

●初回の時刻合わせは、**設定スイッチ**を1回押せば時刻合わせができます。その後、時刻を直したい場合は、**設定スイッチ**を5回押してください。

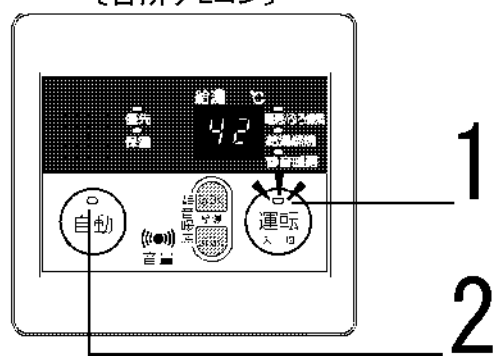
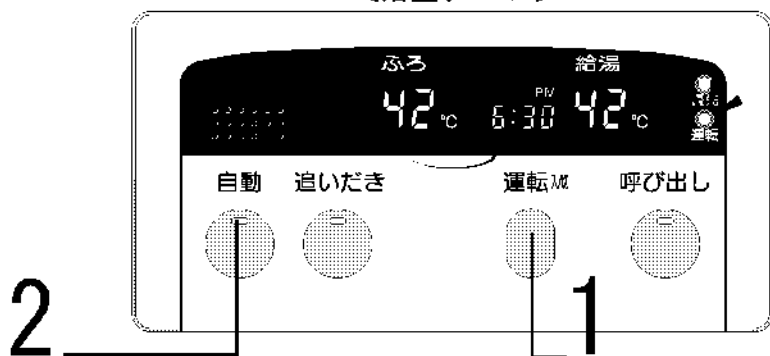
自動でお風呂を沸かすには

はじめてお使いのときはふろ温度：42℃、ふろ水位：40cm（全自動タイプ）または180ℓ（自動タイプ）、保温時間：4時間の設定です。

ふろの温度や水位、保温時間を変更したいときはP. 15～P. 16をご覧ください。

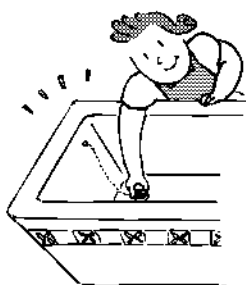
〔浴室リモコン〕

〔台所リモコン〕

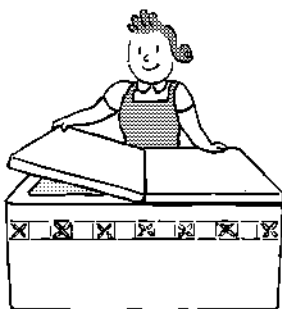


浴槽の排水栓をして
ふたをします

①浴槽の排水栓をします。



②浴槽のふたをします。

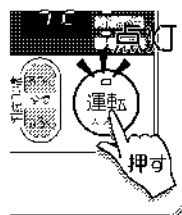


1 運転スイッチを
「入」にします

〔浴室リモコン〕



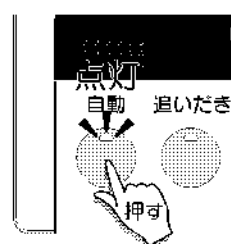
〔台所リモコン〕



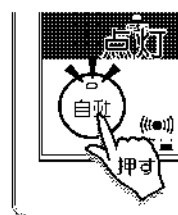
運転ランプ（ミドリ）が点灯します。

2 自動スイッチを
押します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



自動ランプ（アカ）が点灯します。

！ご注意ください

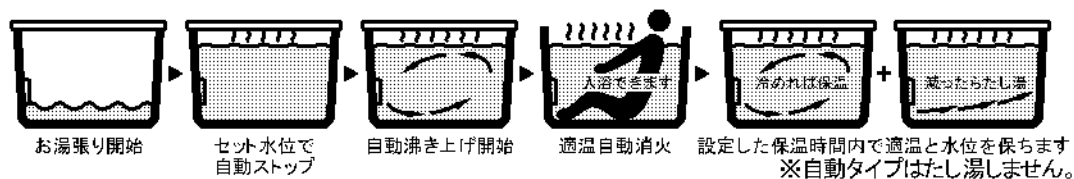
- 保温中にお風呂に入っているときは、湯温を保つため、突然循環口より熱いお湯が出ることがありますので、注意してください。
- お風呂の沸かし上げ中は循環口の周囲が熱くなっていることがあるので注意してください。
- 以下の場合には“もうすぐお風呂に入れます”の音声ガイドが流れません。
 1. 予約運転で自動運転を行ったとき。（全自動タイプ・自動タイプ）
 2. 残り湯があって自動運転を行った際、現在のふろ温度が設定温度に近いとき。（全自動タイプ）
 - 残り湯があって自動運転を行ったとき。（自動タイプ）

お願い

- 排水栓をし忘れると、自動運転中、浴室リモコンに“032”か“252”が点滅し（台所リモコンには“03”か“25”とふろ燃焼ランプ（アカ）が点滅し）、運転が停止します。この場合は、排水栓をして運転スイッチを「切」にし、3秒経過してから再度運転スイッチを「入」にして自動運転を行ってください。（自動タイプの場合は“032”は表示しません。）

おふろに水を入れて沸かし、めるくなったらまた沸かす。という浴室を行ったり来たりする面倒な作業はもういりません。「ふろ自動運転」により、スイッチをワンタッチするだけで簡単におふろが沸かせます。

イラストの説明は、
全自動タイプです。



2-1 お湯張りを開始します。

〔浴室リモコン〕



お湯張り中表示

〔台所リモコン〕



お湯張り中点灯

設定水位に近くなると、
各リモコンからチャイムが鳴り、音声ガイ
ドが2回流れます。
“もうすぐおふろに入れます”

2-2 お湯張りが終わると沸かし上げます。

〔浴室リモコン〕



沸かし上げ中表示

〔台所リモコン〕点灯

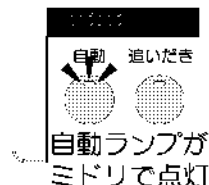


沸かし上げ中点灯

設定された温度に沸き上がると、
各リモコンからチャイムが鳴り、音声ガイ
ドが2回流れます。
“おふろが沸きました”
給湯温度が50、55、60℃のいずれか
に設定している場合は浴室リモコンでは
代わりに“熱い温度にセットされま
した。注意してください。”と2回流
れます。

2-3 保温に入ります。

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



約15～30分の間隔でおふろを
沸かして保温します。
全自動タイプは、お湯が減ったら
設定水位までたし湯し、設定ふろ
温度まで沸かします。
保温時間が終了すると自動ランプ
保温ランプが消灯します。

おふろ沸かしを 途中で停止したい ときは

もう一度、自動スイッチを
押します。
自動ランプが消灯して、
おふろ沸かしが停止しま
す。

沸かし直しをするには 自動スイッチを押します。

〔全自動タイプ〕

おふろが沸くまでの状態は「ふろ自動運転」と同じですが残り湯の水位により浴槽水位が一定とならない場合があります。

〔自動タイプ〕

残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より低い場合は、そのまま自動運転を行うとあふれることがありますので、一度排水し浴槽を空にしてから自動運転を行ってください。残り湯の水位が浴槽の循環口の位置より高い場合は、たし湯量がばらつくことがあります。特に残り湯がセット水位付近のときは「おふろのお湯を熱くするには」(P.17)と同じ操作で行ってください。残り湯がセット水位付近で自動運転を行うとあふれるおそれがあります。また、残り湯とセット温度の差が少ない(約7℃未満)場合、たし湯をしない場合があります。その場合は希望の水位まで給湯栓からお湯を入れるか、たし湯スイッチを押してたし湯してください。

❗ご注意ください

- 自動でおふろを沸かしているとき停電になると自動運転が停止し、循環口からの湯が止まります。以下の操作を行ってください。

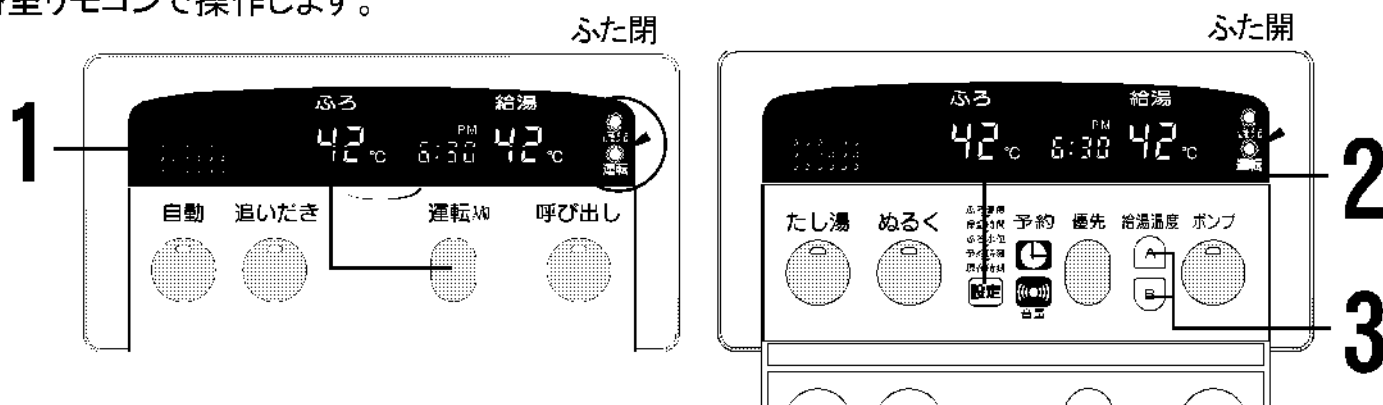
機器のタイプ	操 作
全自動タイプ	運転スイッチを「入」にし、自動スイッチを押します。
自動タイプ	浴槽にたまっているお湯が循環口より低いとき 一度排水した後、運転スイッチを「入」にし、自動スイッチを押す。そのまま自動運転を行うとあふれる場合があります。
	浴槽にたまっているお湯が循環口より高いとき 運転スイッチを「入」にし、自動スイッチを押す。この場合、お湯の量やセット温度との差により、浴槽水位が一定にならない場合があります。



- 自動運転のお湯張り中に台所や洗面所などでお湯を使うと、ふろ設定温度でお湯が出ます。
- 自動運転のお湯張り中に、循環口からお湯が出たり止まったりすると共に浴室リモコンの給湯燃焼表示が点いたり消えたりすること(台所リモコンは給湯燃焼ランプ)は異常ではありません。
- 残り湯がある場合は、すぐにお湯張りを始めません。これは残り湯の水位を機器が確認するためで異常ではありません。

ふろ温度・保温時間・ふろ水位をセットするには

浴室リモコンで操作します。



ふろ温度の設定

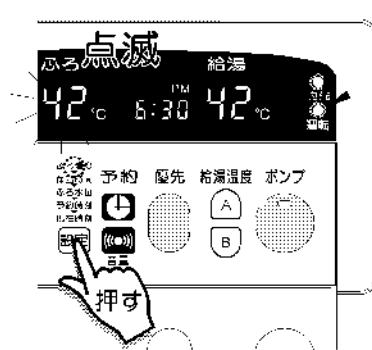
工場出荷時には42℃に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 設定スイッチを1回押します



音声ガイドが2回流れます。
“ふろ温度です。
Aを押すと高くなります。
Bを押すと低くなります。”

3 ふろ温度を設定します

- A — 温度が上がります
- B — 温度が下がります

ご使用の目安

ぬるい	標準	あつい
37℃～39℃	40℃～42℃	43℃～45℃

ふろ温度表示が点滅している間
(5秒間)に押してください。

設定したあと、何もスイッチを押さ
ないで約5秒たつと、
ふろ温度の点滅が止まり、
音声ガイドが“ふろ温度セットさ
れました”とお知らせします。

お願い

- 浴槽の種類や施工条件によって、水位を高めにはセットするとあふれる場合があります。
最初は、工場出荷時の設定で試して、そのときの実際の水位を確認してからお好みの水位に調節することをお勧めします。
- 表示される温度と水位は、実際とは多少異なる場合があります。表示は目安としてお考えください。
なお、全自動タイプのふろ水位 (cm) は、循環口の中心が浴槽下面から15cmを目安にしています。
- 設定は記憶されるので、次回からはセットする必要はありません。ただし、電源プラグを抜いたり停電などによっ
て30分以上通電がない場合は、再セットが必要です。
- 設定スイッチを順に押して「ふろ温度」「保温時間」「ふろ水位」を続けてセットすることもできます。
セットすると音声ガイドが“ふろ温度、保温時間、ふろ水位セットされました。”と設定した項目について
お知らせします。
- 上記のように続けてセットする場合、設定スイッチは以下のように操作します。



- 保温中でもふろ温度の設定を変更することができます。

保温時間の設定

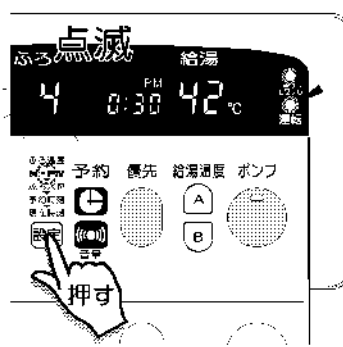
工場出荷時には4 時間に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 設定スイッチを2回押します



音声ガイドが2 回流れます。
“保温時間です。
A を押すと長くなります。
B を押すと短くなります。”

3 保温時間を設定します

- A — 保温時間が長くなります
- B — 保温時間が短くなります

0 1 2 3 4 5 6 7 8 (時間)

保温をしない場合は“0” 時間にセットしてください。

ふろ温度表示が点滅している間
(約5 秒間) に押してください。

設定したあと、何もスイッチを押さないで
約5 秒たつと、ふろ温度の点滅が止まり、
音声ガイドが“保温時間セット
されました”とお知らせします。

ふろ水位の設定

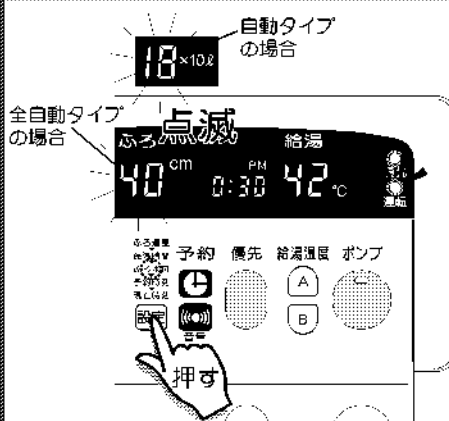
工場出荷時には40cm (全自動タイプ) または、180ℓ (自動タイプ) に設定されています。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 設定スイッチを3回押します



音声ガイドが2 回流れます。
“ふろ水位です。
A を押すと高くなります。
B を押すと低くなります。”

3 ふろ水位を設定します

- A — 水位が高くなります
- B — 水位が低くなります

(全自動タイプの場合)

30 32 34 36 38 40 42 44 46
48 50 52 54 56 58 60 (cm)

(自動タイプの場合)

5 10 12 14 16 18 20 22 24
26 28 30 32 36 40 50 (×10ℓ)

ふろ温度表示が点滅している間
(約5 秒間) に押してください。

設定したあと、何もスイッチを押さないで
約5 秒たつと、ふろ温度の点滅が止まり、
音声ガイドが“ふろ水位セット
されました”とお知らせします。

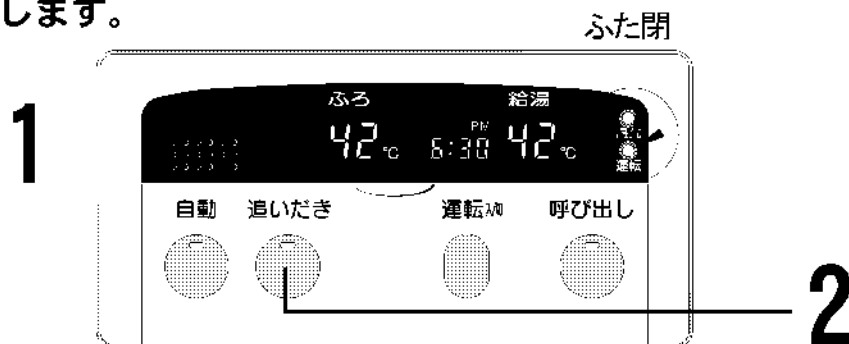
自動タイプは、水位をℓで表し、下1桁を×10ℓで表示します。

例) 180ℓ → (18×10ℓ)

お風呂のお湯を熱くするには（追いだき）

浴槽のお湯がぬるくなったら、熱くすることができます。この機能を「追いだき」といいます。

浴室リモコンで操作します。

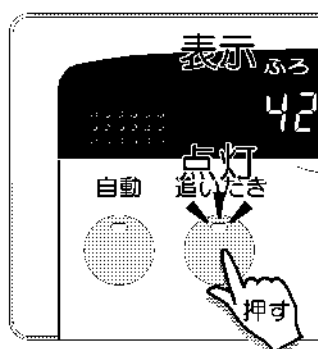


1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 追いだきスイッチを押します



追いだきランプ（オレンジ）が点灯します。
しばらくして、ふろ燃焼表示が表示され、お風呂を沸かし上げます。

追いだきを停止するには

もう一度、追いだきスイッチを押します。
追いだきランプとふろ燃焼表示が消えて、追いだきが停止します。

⚠ 注意 ●追いだきの操作をするときには、浴槽の循環口より上に湯（水）があることを確認する。

お願い ●追いだきスイッチは長く（5秒以上）押さないでください。入浴中に追いだきスイッチを5秒以上押し続けると、長期間使用しない場合の機器の水を抜くための状態となります。浴室リモコンに「032」が点滅し、運転を停止します。誤って押し続けた場合は運転スイッチを「切」にして、3秒以上経過してから再度「入」にしてください。

●表示されているふろ温度と浴槽内の温度は、配管の長さや外気温によって異なることがあります。目安としてお使いください。



●追いだきで停止の操作をしない場合は、現在温度+2℃で沸き上げて自動的に停止します。ただし、沸き上げた温度（現在温度+2℃）が設定温度に達しない場合は設定ふろ温度まで沸き上げて自動的に停止します。

●一度、追いだきをして自動停止し、もっと熱くしたいときは、もう一度追いだきスイッチを押してください。お好みの湯かげんになったら、追いだきスイッチを押して停止してください。

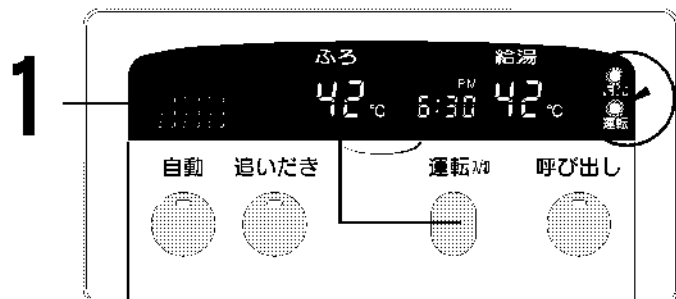
●ふろ自動運転中のお湯張り中（追いだき中）は、追いだきスイッチを使用できません。押すと“ピピピピ”と警告音が鳴ります。

お風呂のお湯をぬるくするには

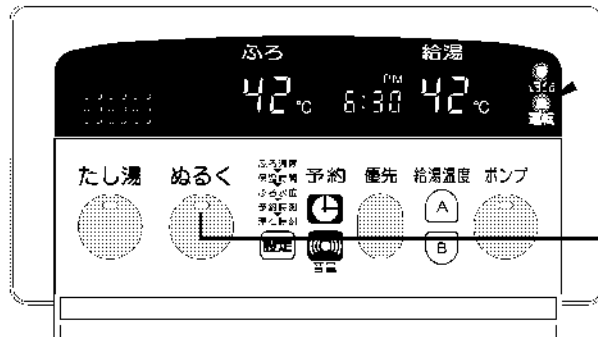
浴槽のお湯が熱くてぬるくしたい場合は、「ぬるく運転」が便利です。この機能では、自動的に水（約12ℓ）を入れて停止し、約30秒間のかくはんを行います。

浴室リモコンで操作します。

ふた閉



ふた開



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 ぬるくスイッチを押します



ぬるくランプ（オレンジ）が点灯します。

約12ℓの水を入れて約30秒間かくはんを行い、自動停止します。

運転が自動停止すると、ぬるくランプ（オレンジ）が消灯します。

ぬるく運転を停止するには

もう一度、ぬるくスイッチを押します。
ぬるくランプが消灯し、ぬるく運転が停止します。

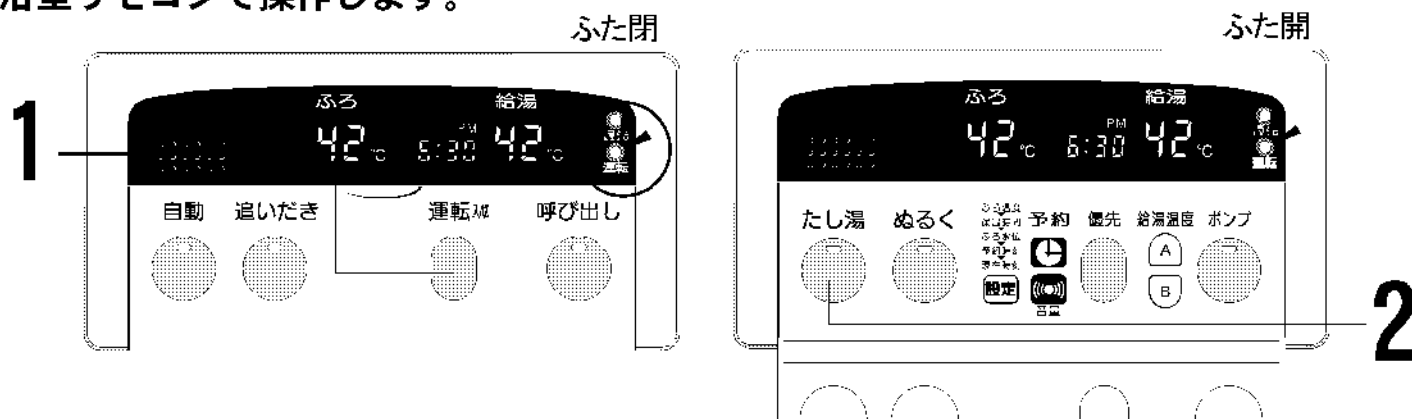


- ぬるく運転では自動的に約12ℓの水を入れます。途中で湯かげんを確かめてください。
- ぬるくランプが点灯しているときに給湯栓を開けますと水が出てきます。このとき給湯燃焼はしません。
- もっとぬるくしたいときは、もう一度ぬるくスイッチを押してください。
- ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）や水抜き運転中はぬるくスイッチを使用できません。スイッチを押すと“ピピピピ”と警告音が鳴ります。給湯燃焼表示またはふろ燃焼表示が消えてからぬるくスイッチを押してください。また、お湯の使用中でもぬるくスイッチを使用できません。

お風呂のお湯をたしたいときは

浴槽のお湯の量を増やしたい場合は、「たし湯運転」を行います。この機能では、自動的に「ふろ温度」設定のお湯を約24ℓ入れたあと、約30秒間のかくはんを行います。

浴室リモコンで操作します。



1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 たし湯スイッチを押します



たし湯ランプ（アカ）が点灯し、給湯燃焼表示^①が表示します。
約24ℓの湯を入れて約30秒間かくはんを行い、自動停止します。
運転が自動停止するとたし湯ランプ（アカ）が消灯し、給湯燃焼
表示^①が消えます。

たし湯運転を停止するには

もう一度、たし湯スイッチを押します。
たし湯ランプと給湯燃焼表示^①が消灯し、たし湯運転が停止します。

❗ ご注意ください

- たし湯運転中は、給湯栓から出るお湯の温度がふろ設定温度になります。このとき、給湯温度の表示は変わりません。
- たし湯運転中の給湯温度は、ふろ温度となりますが給湯温度の表示は変わりません。その後、たし湯が終了すると表示の給湯温度に戻ります。このとき、給湯温度が50℃以上の場合にはチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました。注意してください。”と2回お知らせします。
- 給湯使用中に、たし湯を開始すると給湯温度はふろ設定温度になります。給湯設定温度に戻すには、たし湯終了後給湯を一旦停止してください。
- ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）や水抜き運転中は、たし湯スイッチを使用できません。スイッチを押すと“ピピピピ”と警告音が鳴ります。

おふろが沸く時刻を予約するには

■予約運転をする前に 予約運転は次のような操作で行います。

予約時刻を
合わせる

予約運転を
ONにする

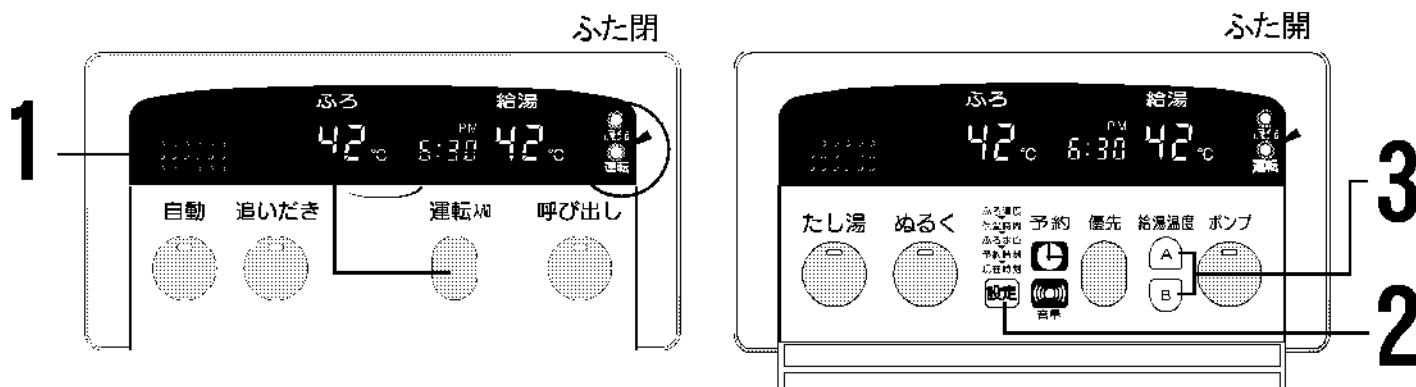
予約時刻に
おふろが沸きます

予約運転を行うときは、毎回以下のことを確認してください。

- 浴槽の排水栓が閉じており、おふろのふたがしてあることを確認。
- 現在時刻があっているかを確認。(P. 12参照)
- 予約時刻を確認。(P. 22参照)
- ふろ温度・保温時間・ふろ水位の設定を確認。(P. 15～16参照)



■予約時刻の合わせ方 おふろの沸き上げ完了する時刻をセットします。

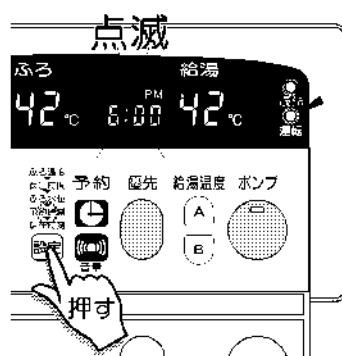


1 運転スイッチ「入」を
確認します。



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 設定スイッチを
4回押します



音声ガイドが2回流れます。

“予約時刻です。”

Aを押すと時の位が変わります。

Bを押すと分の位が変わります。”

3 予約時刻を
設定します

- A — 時の位
- B — 分の位

※スイッチを押し続けると連続的に数字が
変わります。

予約時刻表示が点滅している間
(約5秒間)に押してください。
設定したあと何もスイッチを押さな
いで、5秒たつと、予約時刻の点
滅が止まり、

“予約時刻セットされました”と
音声ガイドがお知らせします。

予約表示 が消え、現在時刻表
示に戻ります。

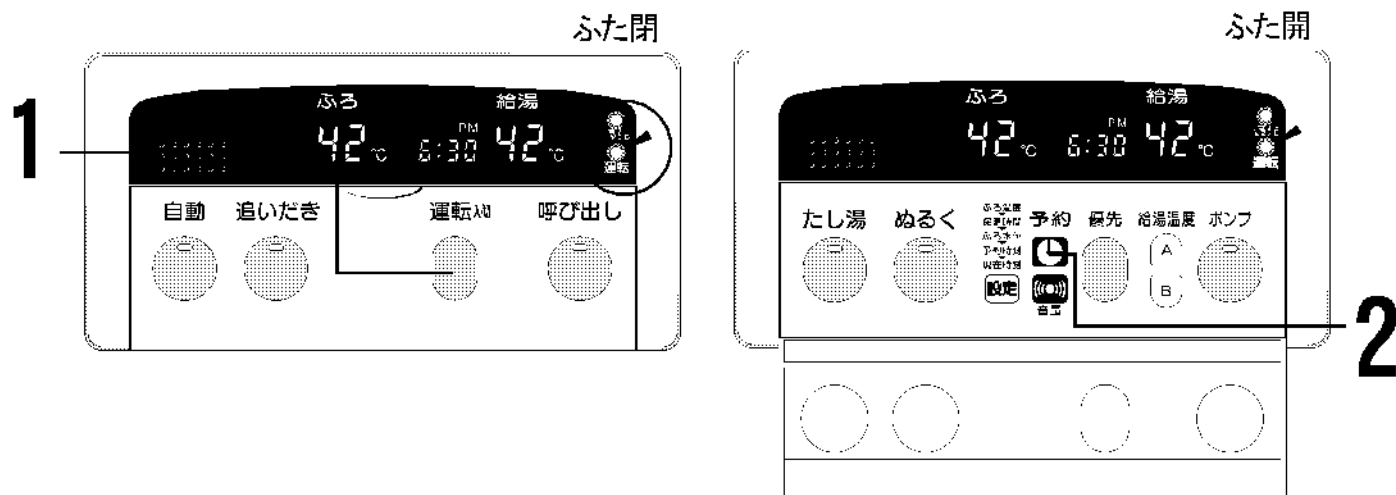


- 出荷時の予約時刻はPM6:00になっています。
- 予約時刻は記憶されますので毎回セットする必要はありません。
- 停電や電源プラグを抜いた場合など30分以上通電が止まり、再通電したあとは現在時刻、予約時刻
などが、工場出荷時の初期設定になります。必ず再セットをしてください。(現在時刻→P. 12, 予約時
刻→上記参照)

お風呂が沸く時刻を予約するには

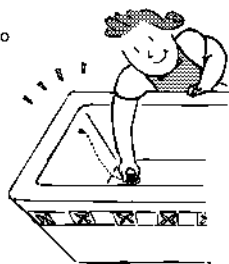
■予約運転を「入」にする

予約運転をするためのスイッチを入れます。
浴室リモコンで操作します。

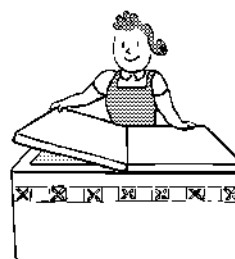


予約運転をする前の準備を行う

①浴槽の排水栓をします。



②浴槽のふたをします。



❗ご注意ください

- 予約をセットしたあと、追いだき たし湯 自動 めるく ポンプスイッチを押すと、予約が解除されるのでご注意ください。
- 予約をセットしたあとに停電があると、予約が解除されてお風呂沸かしはされません。
- 予約でお風呂を沸かしたときも、自動保温を行います。保温時間はふろ自動運転で設定した時間です。
- 自動・追いだき・たし湯・めるく・ポンプ運転中は、予約スイッチを操作できません。スイッチを押すと“ピピピピ”と警告音が鳴ります。
- 予約時刻にお風呂が沸くように、約20～40分前よりふろ自動運転が始まります。
- 水温や浴槽の大きさにより、ふろ自動運転の開始がかわります。



1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕



「入」になっていないときは、
運転スイッチを押します。

2 予約スイッチを押します

〔浴室リモコン〕



予約表示  と予約時刻が表示します。
約3秒たつと現在時刻表示に戻ります。
予約した時刻が正しいか確認してください。

予約時刻におふろが沸くように約20～40分前より
「ふろ自動運転」が始まります。
おふろが沸くと各リモコンから音声ガイドが“おふろが沸
きました。”と2回お知らせします。

■予約に関するその他の操作

予約を取消したいときは

もう一度、予約スイッチを押します。
浴室リモコンは予約表示  が消えます。
すでにおふろ沸かしが始まって、自動ランプが点灯し
ているときには、自動スイッチを押してください。
運転が停止します。

予約時刻を確認したいときは

設定スイッチを4回押します。
予約時刻が点滅しますので、確認してください。
そのまま5秒たつと現在時刻表示に戻ります。

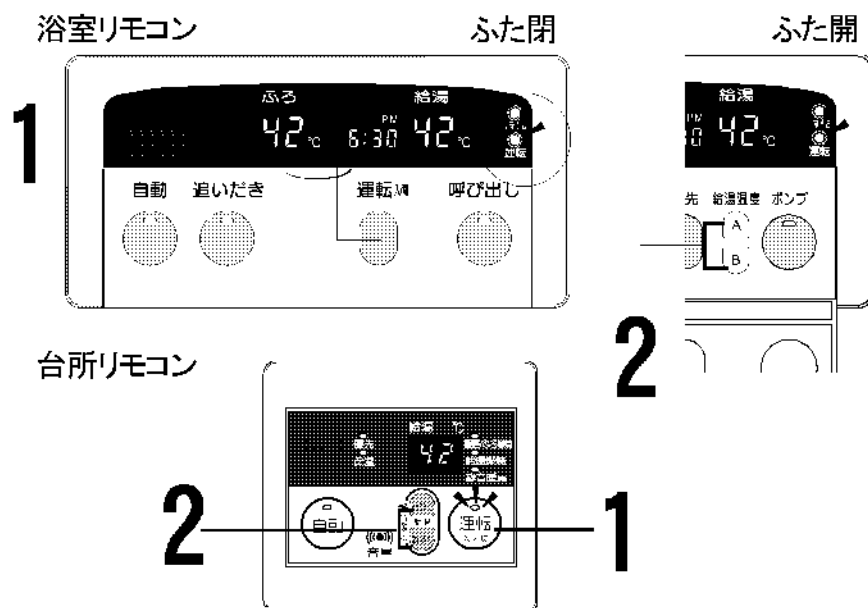
予約時刻を変更したいときは

予約時刻をセットするときと同様の操作で変更します。
(P. 20参照)



●浴室リモコンに予約表示  が表示されたあとは、運転スイッチを「切」にしても予約運転は行われます。
この場合、浴室リモコンのふたを閉じていると、予約表示  は表示されません。

お湯を使うには

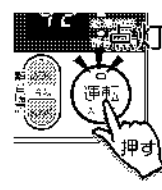


1 運転スイッチ「入」を確認します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

お湯を使うときの注意

警告 ●給湯、シャワー等を使うときは、給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。確認をおこたるとやけどのおそれがあります。

●シャワー使用中に優先を切替えない。台所リモコンで給湯温度調節を行うと、シャワーの温度が急変し、危険です。必ず、浴室リモコンを優先にして、給湯温度を確認してから使用してください。

！ご注意ください

●給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。
●GH-S245ZWシリーズ、GH-S245ZWHシリーズは従来の給湯器に比べて熱効率が高いため、排気口から白煙が出やすくなっています。これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

お願い

●表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。
●使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません（配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります）。
●給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、燃焼が停止して水になることがあります。
●水温が30℃近くなる夏期では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少ないと給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。



●ふろ自動運転中のシャワーはふろ設定温度で出湯されます。自動運転が終了したあとは給湯の設定温度に戻ります。
●お湯を使用中に、ふろ自動・たし湯・ぬるく・追いだき運転をするとお湯の量が減る場合がありますが故障ではありません。

給湯温度を調節するときの注意

！ご注意ください

●50℃、55℃、60℃に給湯温度を設定するとチャイムが鳴り、音声ガイドが“熱い温度にセットされました。注意してください。”と2回お知らせします。

お願い

●ふろ自動運転のお湯張り中（追いだき中）・たし湯・洗濯注湯運転中は、台所リモコンの「あつ」・「ぬるく」スイッチや、浴室リモコンの「A」・「B」スイッチを押すと“ピピピピ”と警告音が鳴り、給湯温度の設定はできません。また自動タイプの場合は、ぬるく運転中も同様に給湯温度の設定はできません。
●55℃以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60℃には設定できません。60℃に設定しようすると“ピピピピ”と警告音が鳴って受け付けません。設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
●通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60℃に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55℃にセットされます。
●はじめてお使いのときや停電時、電源プラグを抜いた場合など、30分以上通電が止まって再通電したときは、給湯温度表示が42℃になります。再度セットし直してください。

おふろのシャワーや上がり湯のほか、台所や洗面所などで使う給湯の操作について説明します。
給湯は、浴室リモコン、台所リモコン、また増設リモコンのいずれからでも操作できます。

2 給湯温度を調節します

〔浴室リモコン〕

- A — 温度が上がります
- B — 温度が下がります

〔台所リモコン〕

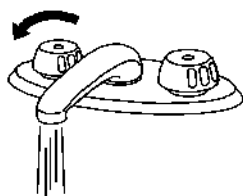
- 温度が上がります
- 温度が下がります

給湯温度は以下の14段階で設定できます。

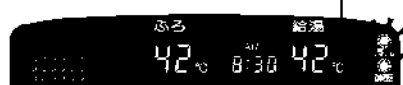
37 38 39 40 41 42
43 44 45 46 47 50
55 60℃

はじめてお使いのときは、42℃の設定です。

3 給湯栓を開けます



〔浴室リモコン〕 給湯燃烧表示



〔台所リモコン〕 給湯燃烧ランプ (アカ) が点灯



4 給湯栓を閉じます



給湯燃烧表示
が消える

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕 給湯燃烧ランプ (アカ) が消灯



ただし、他の給湯栓が使用中のときや、自動運転のお湯張り中は消えません。

給湯温度を調節できない場合、以下の操作をしてください。

■ 優先切替について 給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

	給湯温度を調節できない場合	優先切替を行う (調整可能)	給湯温度を調節できる状態
浴室リモコン	優先ランプが点灯していない 	いずれかの操作で優先を切替えます 1. 優先スイッチを押す 押すごとに浴室リモコン→台所リモコンと切り替わります 2. A/B スイッチを押す	優先ランプ点灯
台所リモコン	優先ランプが点灯していない 押すと「ピピピピ」と警告音が鳴り、音声ガイドが「運転スイッチを入れ直してから温度をセットしてください」とお知らせします。	運転スイッチを一度「切」にし、再度「入」にする 消灯→点灯 ※自動・追いだし・ポンプ運転などが運転中は、停止します。 このような場合は浴室リモコンの優先スイッチで切替えてください。	優先ランプ点灯



● 優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60℃だった場合、自動的に55℃にセットし直されます。

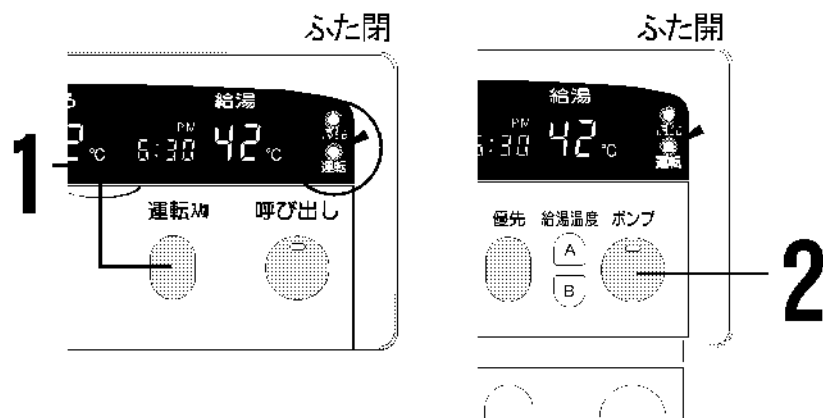
● 別売の増設リモコン (SC-623) を設置している場合

- ・ 台所リモコンが優先のときは、増設リモコンも優先となります。
- ・ 増設リモコンと台所リモコンは連動しています。増設リモコンの運転スイッチを「入」にすると、増設リモコンと台所リモコンに優先ランプ (ミドリ) が点灯し、増設リモコンでも給湯温度を設定できます。給湯温度は設定したリモコン側の温度になります。

残り湯を洗濯などに利用する(ポンプ運転)

浴槽の残り湯は、洗濯機などに注水することができます。この機能を「ポンプ運転」といいます。浴室リモコンで操作します。※水道ホース差込型(TP-S150、TP-S52タイプ)の循環口が取り付けられている浴槽のみ、利用できます。

浴室リモコンで操作します。



利用できます	利用できません
水道ホース差込型(TP-S150タイプ) 水道ホース差込型(TP-S52タイプ)	(TP-S100タイプ)

ポンプ運転の準備をします



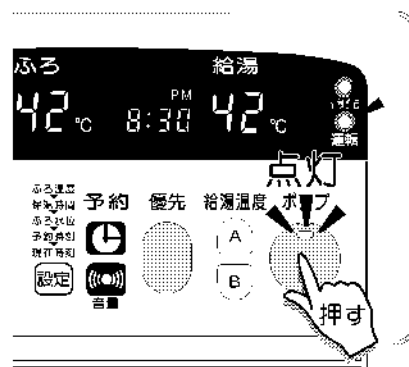
循環口のホース差込み口にビニールホース(内径15mm)を差し込みます。

1 運転スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運転スイッチを押します。

2 ポンプスイッチを押します



ポンプランプ(ミドリ)が点灯し、ポンプが運転して注水を始めます。

ポンプ運転は約15分後に自動停止します。

ポンプ運転(注水)を停止するには

もう一度、ポンプスイッチを押します。

ポンプランプ(ミドリ)が消灯し、ポンプ運転(注水)が停止します。

お願い

- ポンプランプ点灯中は、自動・追いだき・たし湯・ぬるく・予約運転はできません。その場合「ピピピピピ」と警告音が鳴ります。ポンプスイッチを押してポンプランプが消灯後、ビニールホースを外してから行ってください。
- 自動・追いだき・たし湯・ぬるく運転中は、ポンプスイッチを押しても動作しません。その場合「ピピピピピ」と警告音が鳴ります。
- 水道ホース差込型(TP-S150タイプ、TP-S52タイプ)を取り付けている場合でも、条件によっては利用できない場合があります(例えば、洗濯機の設置場所によっては、利用できない場合があります)。
- TP-S100タイプの循環口を取り付けている場合は、ポンプ運転はご利用になれません。ポンプスイッチを押しても浴槽の残り湯が循環するだけです。万一、押したときは、すぐにもう一度ポンプスイッチを押して停止してください。

省電力機能について

浴室リモコンと台所リモコンの画面表示を、何も操作しないときは表示しないようにするのが「省電力モード」です。このモードを使うことで電気の節約になります。

浴室リモコンで操作します。

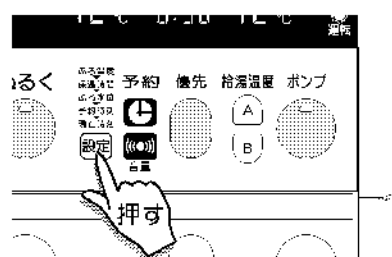


1 運轉スイッチ「入」を確認します



「入」になっていないときは、運轉スイッチを押します。

2 設定スイッチを5秒以上押し続けます



“ピッピッ”と鳴り省電力モードになります。台所リモコン、増設リモコンを取付けている場合は、同時に省電力モードになります。
ふたを閉じます。

その後、5分以上何も操作がない、およびふたを開けない場合には、運轉ランプ以外のすべての画面表示が消えます。

省電力モードに入っていて画面が消えているときに、表示させるには

運轉スイッチを押すか、ふたを開けると、再び画面が表示します。
(自動、追いだき運轉や呼び出しをしたときは、そのまま各スイッチを押しても画面表示し、実際に各スイッチの運轉状態に入ります。)

省電力モードを解除するには

設定スイッチを5秒以上押し続けます。
“ポッポッ”と鳴って、省電力モードが解除されます。
台所リモコン、増設リモコンも同時に、省電力モードが解除されます。

- お願い**
- 省電力機能で画面が消えているときに給湯・シャワーを使うときは、一度画面表示をさせて給湯温度を確認してからご使用ください。
 - 自動・追いだき・呼び出しスイッチ以外の各スイッチは、画面が消えている状態では受け付けません。自動・追いだき・呼び出しスイッチ以外のスイッチを使用するときは、上記の方法で一度画面を表示させてから行ってください。
 - 浴室リモコンや台所リモコンで何も操作してなくても、他の場所でお湯を使っている場合、または保温中の場合は、画面表示しています。
 - 給湯温度が50℃以上に設定されているときには、省電力モードでも画面が消えません。
 - 予約運轉をセットしているときは、台所リモコンの予約ランプは消えません。
 - 省電力機能で画面が消えているとき、給湯の優先が浴室リモコンにあつて台所リモコンに優先を移す場合は、次の手順で行ってください。(運轉ランプが点灯中、画面表示が消えている場合)
 - ①台所リモコンの運轉スイッチを押して画面表示をさせ、もう一度運轉スイッチを押して運轉「切」にします。
 - ②再度、運轉スイッチを押して運轉「入」にします。台所リモコンが優先となります。
 - 自動運轉中は画面が表示されます。
 - 省電力のまま運轉スイッチを「切」にしても省電力モードは解除されません。

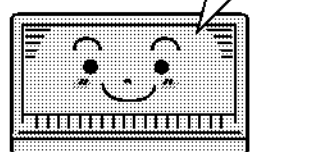
暖房運転をするには

■放熱器の運転／停止

〈放熱器に運転スイッチがあり、信号線を接続している場合〉

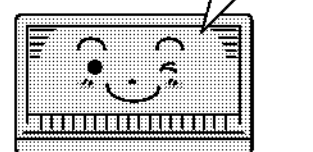
放熱器の運転

放熱器の運転スイッチ「入」にします。
台所リモコンの暖房／ふろ燃焼ランプ（アカ）が点灯します。
しばらくしてファンが回り、暖かい空気が出てきます。



放熱器の停止

放熱器の運転スイッチ「切」にします。
台所リモコンの暖房／ふろ燃焼ランプ（アカ）が消灯します。
放熱器の運転が停止します。



■暖房スイッチ付台所リモコン（MC-624）での運転／停止

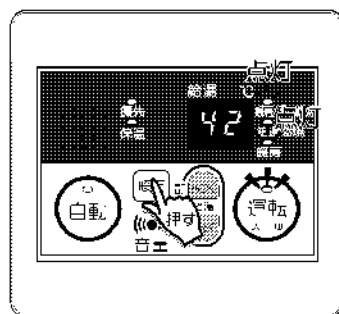
〈放熱器に運転スイッチがない場合や信号線を接続していない場合〉

放熱器の運転

放熱器のバルブを開け、
台所リモコンの暖房スイッチを押します。

台所リモコンの暖房ランプ（アカ）、および
暖房／ふろ燃焼ランプ（アカ）が点灯します。

台所リモコン
MC-624

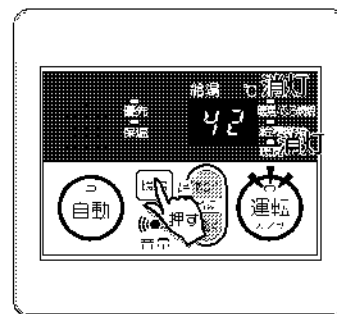


放熱器の停止

台所リモコンの暖房スイッチを押します。

台所リモコンの暖房ランプ（アカ）、および
暖房／ふろ燃焼ランプ（アカ）が消灯します。

台所リモコン
MC-624



- リモコンの運転スイッチの「入」／「切」に関係なく暖房運転できます。
- 放熱器に運転スイッチがない場合は、暖房スイッチ付の台所リモコンをご使用ください。
- 放熱器の運転方法・温度調節の方法については、放熱器の取扱説明書をご覧ください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。

システムエアコン、放熱器、床暖房などを使用できます。
操作はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

■浴室予備暖房について

浴室予備暖房スイッチがついているリモコン(MC-625)で使用する機能です。

台所から、浴室暖房乾燥機の運転「入」/「切」ができます。ふろの自動運転をするとき同時に、浴室予備暖房スイッチを入れておけば、おふろが沸き上がる頃には浴室が暖まっています。

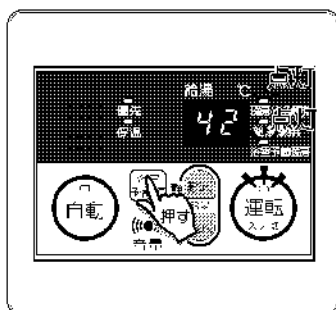
■浴室予備暖房の運転／停止

浴室暖房乾燥機の運転

台所リモコンの
浴室予備暖房スイッチを押します。

台所リモコンの浴室予備暖房ランプ(アカ)および、
暖房/ふろ燃焼ランプ(アカ)が点灯します。
しばらくすると、浴室暖房乾燥機が動きはじめます。

台所リモコン
MC-625

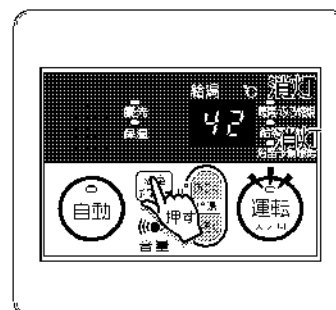


浴室暖房乾燥機の停止

台所リモコンの
浴室予備暖房スイッチを押します。

台所リモコンの浴室予備暖房ランプ(アカ)および、
暖房/ふろ燃焼ランプ(アカ)が消灯します。
浴室暖房乾燥機の運転が停止します。

台所リモコン
MC-625



- 台所リモコンの運転スイッチ「入」/「切」に関係なく暖房運転できます。
- 浴室暖房乾燥機の温度調節の方法については、浴室暖房乾燥機の取扱説明書に従ってください。
- 暖房水は自動的に補給されますので、給水元栓は開けたままにしておいてください。
- 浴室暖房乾燥機付属のリモコンで暖房(浴室予備暖房)運転を行っているときに、台所リモコン(MC-625)の浴室予備暖房スイッチを押すと運転が停止します。
- 浴室暖房乾燥機で暖房(浴室予備暖房)以外の運転を行っているときに、台所リモコン(MC-625)の浴室予備暖房スイッチを押すと、暖房(浴室予備暖房)運転に切り替わりますので注意してください。

暖房運転をするには

■静音暖房について

静音暖房は、暖房運転音を通常より静かにする機能です。この際、暖房能力は少し低下します。一度、静音暖房をセットしておけば、運転「切」の状態でも、毎回静音暖房運転になります。ただし、停電や電源プラグを抜くなどして一度通電が停止したときは、再びセットが必要です。

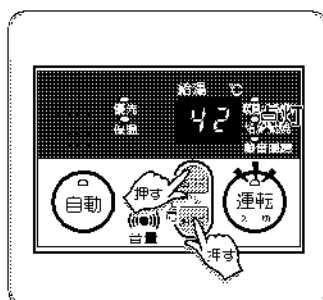
■静音暖房の設定/解除

静音暖房の設定

台所リモコンの  ・  スイッチを同時に押します。

MC-623は、静音暖房ランプがミドリで点灯します。
MC-624は、暖房ランプの色が、MC-625は浴室予備暖房ランプの色が変わります。
(暖房使用時はアカからオレンジへ、暖房停止時は消灯からミドリへ変わります)

例: 台所リモコン
MC-623

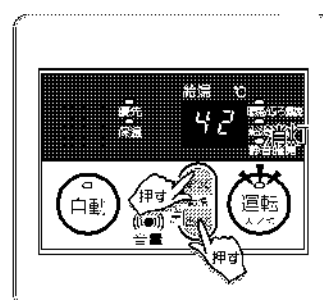


静音暖房の解除

台所リモコンの  ・  スイッチを同時に押します。

MC-623は、静音暖房ランプが消灯します。
MC-624は、暖房ランプの色が、MC-625は浴室予備暖房ランプの色が変わります。
(暖房使用時はオレンジからアカへ、暖房停止時はミドリから消灯へ変わります)

例: 台所リモコン
MC-623



チャイムや音声ガイドの音量を調節する

リモコンから流れるチャイムや警告音、音声ガイドの音量は、大きくしたり小さくしたり、無音にしたりすることができます。音量は浴室リモコン・台所リモコンで別々に設定できます。

1 音量スイッチを押します

〔浴室リモコン〕



〔台所リモコン〕



音量は、大・中・小・無音の4段階で設定できます
(初期設定は「大」になっています)。

音量スイッチを1回押すごとに次のように設定できます。

音量  大  中  小  無音 



- 設定した音量は、運転スイッチを「切」にしても記憶されています。
- 音量を無音に設定すると音声ガイドは流れません。ただし、浴室リモコンで呼び出しスイッチが押されたときには台所リモコンから呼び出し音声ガイドが流れます。
- 台所リモコンの呼び出し音声の音量、スイッチ操作時の“ピッ”という音、警告音“ピピピピピ”の音は調節できません。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

給湯・ふろ

■凍結予防装置による方法

通常の寒さのとき（外気温－15℃、有風5m/s程度まで）

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターと、自動的に浴槽の水（湯）を循環して機器内や追いだき配管の凍結を予防する凍結予防装置がついています。そのため外気温－15℃程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチの「入」／「切」に関係なく作動します。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、給湯栓の水を流す方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。



- お願い**
- 自動凍結予防装置は電源プラグを抜いたり、電源ブレーカーを切ると作動しません。絶対に電源プラグは抜かないでください。
 - 機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがあります。配管は必ず保温材で被覆してください。
 - 凍結予防装置で凍結予防をしているときは、浴槽の残り湯を捨てないで、そのままにしておいてください。
 - 次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

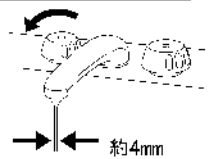


- GH-S245ZWシリーズ、GH-S245ZWHシリーズは従来の製品と比べ、熱効率が高いため排気口から白煙が出やすくなっています。これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

■給湯栓の水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- 1 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。
- 2 ガス栓を閉じます。
- 3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc（牛乳びん2本ぐらい）の水を流し続けます。流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



- 給湯栓の水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

■機器内の水を抜く方法

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

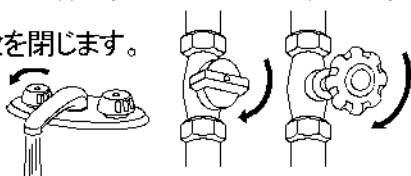
- ⚠注意**
- 使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

- 1 ガス栓・給水元栓を閉じます。

- 2 全ての給湯栓を全開にします。

- 3 浴槽の水を排水します。

- 4 浴室リモコンの運転スイッチを「入」にし、追いだきスイッチを5秒間押し続けます。



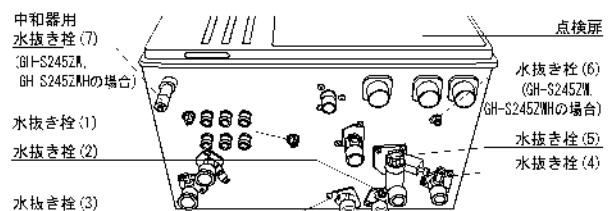
浴槽の水が排水されていないと浴室リモコンに「032」が点滅（台所リモコンに「03」とふろ燃焼ランプが点滅）します。再度、浴槽の水が排水されているか確認してください。

お願い

- 水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。
- 水抜きをしたあとは、浴槽へ水を流し込まないでください。
- 別売のユニットを取り付けている場合の水抜き方法については、ユニットに付属の取扱説明書もご覧ください。

- 5 水抜き栓（1）（2）（3）（4）（5）を外します。

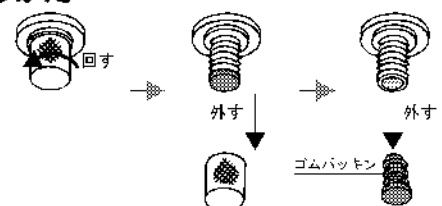
GH-S245ZWシリーズ、GH-S245ZWHシリーズは、水抜き栓（6）（7）も外します。



（図はGH-S245ZWHを示します）

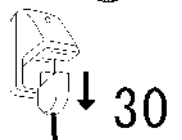
水抜き栓（7）の外しかた

水抜き栓（7）は中のゴムパッキンを外して、水抜き栓にはめ込んでください。



- 6 必ず電源プラグを抜きます。

以上の操作で機器内の水は排水されますので、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。



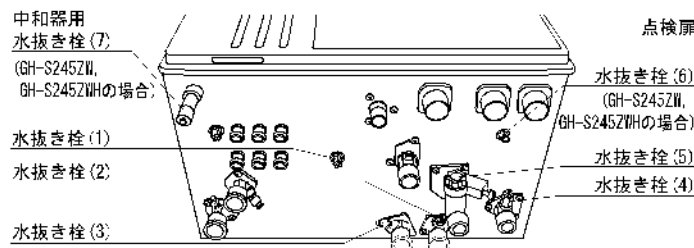
冬期の凍結予防をするには

給湯・ふろ

■機器内の水を抜いたあと、再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

- 1 水抜き栓 (1) (2) (3) (4) (5) を閉じます。
GH-S245ZWシリーズ、GH-S245ZWHシリーズは、水抜き栓 (6) (7) も閉じます。

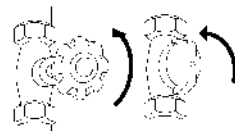


(図はGH-S245ZWHを示します)

- 2 全ての給湯栓を閉じます。

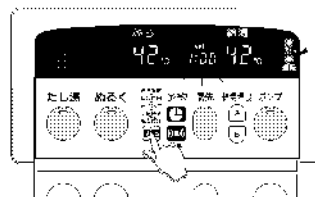


- 3 給水元栓を開け、水漏れがないことを確認し、ガス栓も開けます。



- 4 電源プラグをコンセントに差し込みます。

- 5 リモコンのふろ温度・ふろ水位・保温時間・給湯温度・現在時刻・予約時刻等を設定し直します。



- 6 機器の水抜きを行った後におふろを沸かすときは、ふろ自動運転を行い、浴槽にお湯張りしてください。(おふろを沸かしながら自動的にポンプに呼び水するためです。)



- 再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
- 別売のユニットを取付けている場合、ユニットに付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

暖房

■凍結予防装置による方法

通常寒さのとき(外気温-15℃、有風5m/s程度まで)

この機器には、気温が下がってくると自動的に暖房タンクの水(湯)を循環して暖房運転(燃焼)し、暖房回路内の水を暖め凍結を予防します。回路内が暖まると暖房運転を停止します。通常は機器および放熱器の電源プラグをコンセントに差し込まれた状態にし、ガス栓を開にしておけば凍結予防できます。凍結予防装置は運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、不凍液による方法または、機器の水を抜く方法で凍結予防をしてください。

お願い

- 方法は放熱器によって異なります。
- 電源プラグがコンセントから抜けていたり、電源ブレーカーが切れていると作動しませんのでご注意ください。
- この方法では、機器内の凍結は予防できても配管は凍結することがありますので、必ず保温材や電気ヒーターを巻くなどの措置をしてください。



- GH-S245ZWシリーズ、GH-S245ZWHシリーズは従来の製品と比べ、熱効率が高いため排気口から白煙が出やすくなっています。これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

■不凍液による方法

- 寒冷地では不凍液を使用してください。不凍液は経年劣化します。毎シーズン初めにお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社にチェックを依頼して、3年に1度交換してください。
- 暖房システムの凍結予防のために指定された不凍液を使用してください。指定以外の不凍液は機器に悪い影響を与える場合がありますのでご注意ください。
- 不凍液は、不凍液の取扱説明書に記載されている方法で正しく使用してください。

■機器内の水を抜く方法

(不凍液が入っている場合、水抜き操作は行いません。)

入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し、凍結予防します。排水後は、次にお使いになるまでそのままにしておいてください。



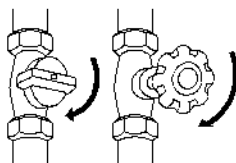
注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。

機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

●給湯・ふろの水抜き操作に引き続き暖房の水抜きを行う場合は、再度電源プラグを差し込みます。

まず機器内の水を抜きます

- 1 ガス栓・給水元栓を閉じます。

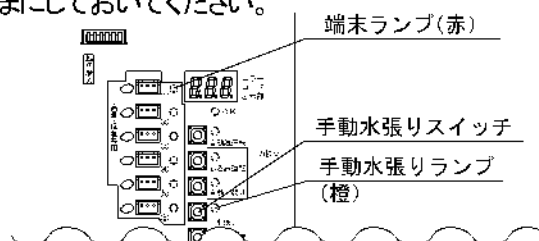


- 2 水抜き栓 (1) (2) (3) を外します。

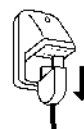


つぎに暖房回路内の水を抜きます

- 3 ビス (2 本) を外し、フロントカバーの点検扉を開けます。
- 4 点検扉に貼ってある配線ラベルを参考に、電装基板上的手動水張りスイッチを押します。
手動水張りランプが点灯したことを確認したら、5分位そのままにしておいてください。



- 5 水抜き栓から完全に水が出たら、手動水張りスイッチを押して、手動水張りランプを消灯させます。
- 6 フロントカバーの点検扉を、元どおりにビスでとめます。
- 7 電源プラグを抜きます。



お願い

- 暖房循環回路の水抜きを行った場合は、再び使用するときには水張り作業が必要です。
お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
- 水抜きの操作をすると、機器本体だけでなく配管や放熱機内の水も出てきます。
水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

凍結したとき

凍結したときは、給湯栓を開けても水がでできません。

解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

- 1 ガス栓・給水元栓を閉じます。
配管が破裂していた場合の水漏れを防止する目的です。
- 2 リモコンの運転スイッチを「切」にします。
- 3 とくどき、給水元栓と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば使用できます。
通水したら、機器および配管から水漏れがないことを確認してください。ガス栓を開けます。
- 4 リモコンの運転スイッチを「入」にします。

お願い

- 取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損すると、高額な修理費 (有料) がかかる場合があります。
- 給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破裂することがあります。解凍後は、全ての給湯栓を閉じてから水道メーターを見るなどして、水漏れしていないことをご確認ください。
- 機器や配管が破損し、水漏れで壁を汚したり、階下を濡らした場合の修理費用はお客様の負担となります。

点検のポイント・お手入れのしかた

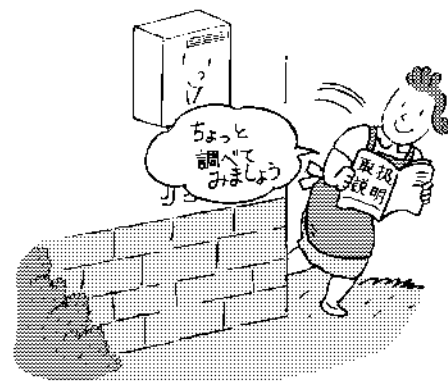
■点検のポイント（月1回程度）

次の7つのポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気がしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、および排気口のそばに燃えやすいものはありますか？
- 6 浴槽に循環口フィルターがついていますか？
- 7 給気口・排気口への積雪や、屋根から落ちた雪により排気口が塞がれていませんか？

給気口・排気口が塞がれていると、機器が不完全燃焼することがあります。

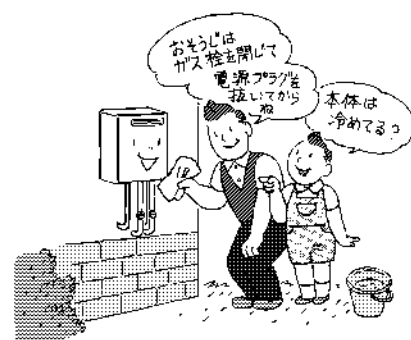
積雪時には給気口・排気口の点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給気口・排気口をふさぐおそれがあるときはお買い上げの販売店または、最寄りのガス会社へご連絡ください。



■お手入れのしかた（月1回程度）

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れは、水にぬらしたやわらかい布をかたく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。
変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ（有料）

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご相談ください。

警告 ●フロントカバーを外したり、リモコンを分解したりしない。



分解禁止

！ ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルター（金網）を掃除してください。
- 台所リモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、浴室リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

お願い

- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
- 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

安全に長くお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

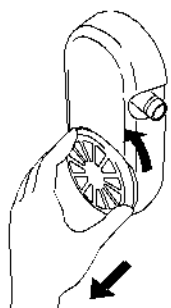
■循環口フィルターの掃除（こまめに掃除）

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いつきができなくなります。

循環口フィルターの外し方

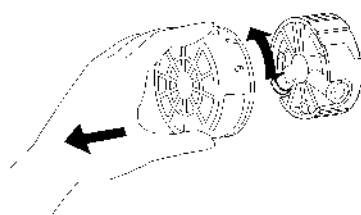
循環口フィルターの外し方は、循環口の種類により異なります。

TP-S150タイプ



循環口フィルターのローレット部をつまみ、左に回して手前に引きます。

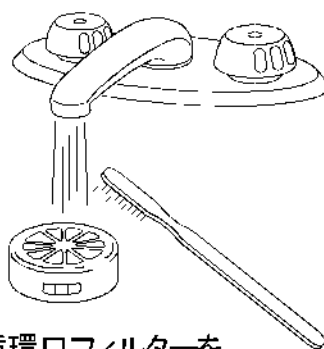
TP-S100タイプ



循環口フィルターを左に回して手前に引きます。

循環口フィルターを掃除する

歯ブラシなどで洗います。



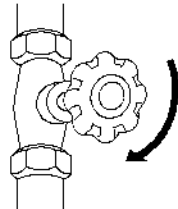
掃除後、循環口フィルターを元のように取り付けます。

■給水口フィルターの掃除

給水口フィルターがつまるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。

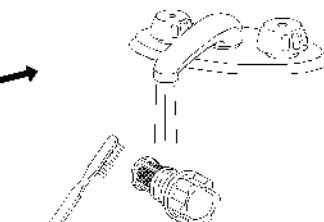
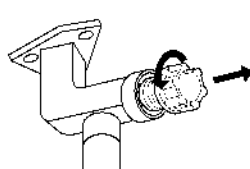
そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。(特に、新築や井戸ポンプの場合)

(図はGH-S245ZWHを示します)

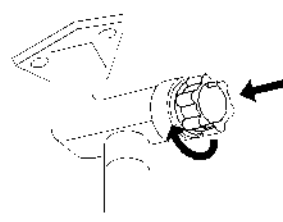


1 給水元栓を閉じる。

2 給水接続口にある水抜き栓を外す。



3 歯ブラシなどで洗う。



4 元のように取り付ける。

■点検・お手入れ後の確認

点検・お手入れ後はガス栓を開いて、運転スイッチを「入」にしてから給湯栓を開き、機器が正常に作動していることを確認してください。万一、異常な燃焼・臭気・異常音を感じられたときは、使用を中止し、ガス栓を閉じてお買い上げの販売店または、最寄りのガス会社へご連絡ください。

お願い

●循環口フィルターは必ず取り付けてご使用ください。

循環口フィルターを付けないで運転すると、ポンプ等の故障の原因となります。

●給水口フィルターを外すと水が出ます。

水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。

●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。

●別売のユニットを取付けている場合、ユニットに付属の取扱説明書も合わせてご覧ください。

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

浴槽をお掃除するときは循環口フィルターも掃除してください。循環口フィルターには、湯アカや毛、タオルのくずなどが意外と多くたまるものです。循環口フィルターの汚れがひどいと、循環量が弱まったり、追いだきができなくなります。

こんなとき

ここを調べてください

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください。

リモコンの画面に
表示が出ない

省電力の待機中ではありませんか (→26ページ)
電源プラグがコンセントに差し込まれていますか (→12ページ)
停電していませんか (→5ページ)

アラーム番号「032」「252」「542」
が点滅し、動作しない
(台所リモコンは、「03」「25」「54」と
ふろ燃焼ランプが点滅)

給水元栓が全開になっていますか (→12ページ)
断水していませんか
おふろの排水栓はしっかりはまっていますか (→13ページ)

給湯燃焼表示  が表示しない
(台所リモコンは、給湯燃焼ランプが
点灯しない)
お湯が出ない

ガス栓が全開になっていますか (→12ページ)
給水元栓が全開になっていますか (→12ページ)
断水していませんか
給湯栓が十分開いていますか (→24ページ)
給水口フィルターがつまっていますか (→34ページ)

高温のお湯が出ない
低温のお湯が出ない

給湯栓が十分開いていますか (→24ページ)
温度調節は適切ですか (→24ページ)
混合水栓やサーモミキシングバルブを使用し、高温
のお湯が出ない場合は、リモコンの給湯温度を60℃
にセットしてください

ふろ燃焼表示  が表示しない
(台所リモコンは、ふろ燃焼ランプが
点灯しない)

ガス栓が全開になっていますか (→12ページ)
浴槽に水が入っていますか

おふろ使用中に消火した

ガス栓が全開になっていますか (→12ページ)
設定温度が低過ぎませんか (→15ページ)

浴槽の水があつい(ぬるい)

ふろ温度のセットは適切ですか (→15ページ)

浴槽の水が少ない(多い)

ふろ水位のセットは適切ですか (→16ページ)

洗濯機に入る残り湯が極端に
少ない

洗濯機の入水口フィルターの掃除を行ってください

暖房がきかない(ききが悪い)

ガス栓が全開になっていますか (→12ページ)
放熱器の温度設定は適切ですか
床暖房は暖まるまでに時間が掛かる場合があります

■こんな時は故障ではありません

現象	点検項目
給湯栓を絞りすぎて水になった	この機器は通水量が約2.5ℓ/分以下になったときには消火します。
夏期水温が高いとき 低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いときに低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。給湯栓をもっと開いて出湯量を多くすれば湯温は安定します。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール、サイダー等の泡と似た現象であり汚濁とは違って、まったく無害なものです。
浴槽、洗面台が青く見える	湯アガが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。掃除はこまめに行ってください。
寒い日排気口から白い湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白い湯気となりますが、故障ではありません。※GH-S245ZWシリーズGH-S245ZWHシリーズは、熱効率が高いため、白煙が出やすくなっています。
冬期など寒いとき追いだきの ポンプが自動的に動く	凍結破損予防のため、ポンプが自動運転を行います。
給湯栓を開いてもすぐにお湯 が出てこない	機器から給湯栓までは距離がありますので、お湯が出てくるまでには少し時間がかかります。
出湯停止後しばらくファンの 回転音がする	再使用時の点火をより早くするため、しばらくの間は回転しています。
自動スイッチを押した後 お湯入れがときどき停止する	浴槽の中に正確にお湯入れをするための動作です。
運転終了後もしばらく ポンプが回る	「ぬるく」「自動」「追いだき」「たし湯」運転終了後、かくはんのためポンプがしばらく回ります。
時計表示が合っていない	30分以上の停電後、再通電すると表示画面がAM1:00になります。なお、ふろ水位・温度設定・予約時刻・保温時間等も初期状態に戻りますので再設定してください。
保温中ときどきポンプが回る	浴槽のお湯の温度を検知するためおよそ15～30分間隔で回ります。
ときどき水抜き栓から水が出る	水抜き栓がしっかり閉じていないと水漏れします。給湯側の水抜き栓は、過圧防止安全装置をかねています。圧力を逃すために湯(水)が出る場合があります。
給湯栓を開けたとき お湯の量の変動する	湯温を安定させるために自動的に湯量調整しています。すぐに湯量は安定します。
給湯使用中にお湯の量が 変化する	お湯を使用中、他の場所でお湯を使用したり、「ぬるく」「自動」「追いだき」「たし湯」運転をすると、お湯の量が減る場合があります。
暖房ポンプがときどき 自動的に回る	エア抜きをするためと、ポンプの固着を防止するための機能ですので故障ではありません。
お風呂を使用していないのに浴 槽の循環口よりお湯(水)が出る	浴槽のお湯を排水したあと、ふろ配管内の残り湯を流し出す機能が働く、循環口からお湯(水)が出ます。

以上のことをお調べのうえ、なお異常のあるときは
お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。

長くお使いいただくために

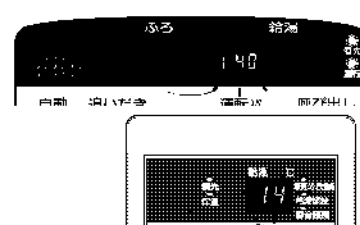
故障かな?と思ったら

- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転が停止します。
- アラーム番号が表示、点滅したときは、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。そのときは、表示されているアラーム番号もお知らせください。

アラーム番号	内 容	処 置 方 法	使 用 状 態	アラーム番号	内 容	処 置 方 法	使 用 状 態
002	ガス供給なし応答燃焼異常	追いだし試運転	追いだし試運転	505	(別売のユニット) 三方弁・水量センサー異常	修理を依頼する (別売ユニットを取付けた場合)	洗濯・自動・たし湯・ 追いだし
011	給湯50分以上連続使用	給湯栓を閉じてリセット	給湯	510	元ガス電磁弁故障		洗濯・自動・たし湯・追いだし・暖房
030	木刻迄ガス極選択	修理を依頼する		511	給湯ガス電磁弁故障		給湯・自動・たし湯
032	注湯時間異常	浴槽の排水や確認後リセット	自動・追いだし	513	暖房ガス電磁弁故障		自動・追いだし・暖房
101	給湯自己診断能力ダウン	修正を依頼する	給湯・自動・たし湯	542	切替弁関係異常		自動・ぬるく・たし湯
103	暖房自己診断能力ダウン		暖房・自動・追いだし	543	暖房回路漏水異常		自動・追いだし・暖房
111	給湯側点火不良	ガス栓確認後リセット	給湯・自動・たし湯	562	注湯電磁弁異常		自動・たし湯
113	暖房側点火不良		自動・追いだし・暖房	582	ソーラー切替弁異常		給湯・自動
121	給湯側失火		給湯・自動・たし湯	611	給湯燃焼ファン回転異常		洗濯・F動・たし湯・追いだし・暖房
123	暖房側失火		自動・追いだし・暖房	613	暖房燃焼ファン回転異常		洗濯・F動・たし湯・追いだし・暖房
140	空だき安全装置作動		給湯・自動・たし湯・追いだし	623	暖房ポンプ異常		自動・たし湯・暖房
173	元ガス電磁弁回路不良		給湯・自動・ぬるく・たし湯	700	電装基板故障	修理を依頼する	
177	暖房に経路水異常		自動・追いだし・暖房	701	給湯ガス比例弁回路異常		給湯・自動・たし湯
252	(自動気密試験)多量漏れ	自動気密試験	自動・追いだし	703	暖房ガス電磁弁回路異常		給湯・追いだし・暖房
290	ふろ水流SW異常		給湯・自動・たし湯	711	給湯ガス電磁弁回路不良		給湯・自動・たし湯
311	出湯温リミスタ断線		給湯・自動・たし湯	713	暖房ガス電磁弁回路不良		給湯・自動・たし湯
312	ふろサーミスタ断線	修理を依頼する	自動・追いだし	721	給湯側ブリ・ポスト異常		給湯・自動・たし湯
313	暖房サーミスタ断線		自動・追いだし・暖房	723	暖房側ブリ・ポスト異常		給湯・追いだし・暖房
321	人水温度サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯	740	台所リモコン通信異常		
323	凍結予防サーミスタ断線		暖房	750	浴室リモコン通信異常		
331	混合温サーミスタ断線		給湯・自動・たし湯		増設リモコン通信異常		
332	ソラ戻サーミスタ断線		給湯・自動		(別売のユニット) 通 信 異 常	修理を依頼する (別売ユニットを取付けた場合)	
333	暖房低温サーミスタ断線		自動・追いだし・暖房	755	インテリジェントバーコン通信異常		暖房・各端末との通信
391	給湯サーモカップル異常		給湯・自動・たし湯	901	給 気 汚 染 異 常	修理を依頼する	給湯・自動・たし湯
393	暖房サーモカップル異常		暖房・自動・追いだし	920	中 和 器 異 常		洗濯・自動・たし湯・追いだし・暖房
422	注湯量センサー異常		自動・ぬるく・たし湯	930	中 和 器 異 常		洗濯・自動・たし湯・追いだし・暖房
432	水位センサー異常※		自動	991	給湯自己診断燃焼異常		給湯・自動・たし湯
433	暖房水位検出異常		自動・追いだし・暖房	993	暖房自己診断燃焼異常		暖房・自動・追いだし
502	熱 動 弁 異 常		追いだし				

リセット操作 運転スイッチを一度「切」にし、3秒以上経過してから、運転スイッチを「入」にする。

番号によっては、給湯やふろ温度表示部に、補足の番号が出ることがあります。ご連絡のときは、あわせてアラーム番号をお知らせください。台所リモコンは、簡易表示のため、アラーム番号の左側2桁を表示・点滅します。給湯側の場合は、アラーム番号と給湯燃焼ランプが同時に点滅します。ふろ側の場合はアラーム番号とふろ燃焼ランプが同時に点滅します。ただし、アラーム番号140・505・510・700・740・750・755の場合は燃焼ランプは点滅しません。別売のユニットが接続されている場合、上記以外のアラームが出ることがあります。そのときは、ユニットに付属の取扱説明書をご覧ください。



■こんな場合には安全装置が働きます ()はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を防止します。……凍結予防装置
- バーナーが正常に燃焼しないとき作動し、ガスが自動的に停止します。(121・123)……立消え安全装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。……漏電安全装置
- 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721・723)残火安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(140)……過熱防止装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の損傷を防止します。…過圧防止安全装置

!! ご注意ください

- “920・930”は中和器に関するアラームですので“920・930”が出ましたら、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
“920”は中和器交換警告なので中和器の交換をしてしてください。機器はしばらく使用できますが、リモコンのアラームは点滅したままです。点滅時は、リモコンの給湯温度が表示されませんので、湯温を確かめてから使用してください。
“930”が表示されると、機器の使用はできません。中和器の交換をしてください。



- アラーム番号“101”のときは自己診断機能により給湯能力がさがります。(24号又は27号から約12号に)使用はできますが十分な給湯能力が出ない状態ですので修理を依頼してください。(自己診断機能とは、機器のガスの燃焼が異常になった場合にその燃焼を正常にしようとする機能をいいます。自己診断機能が働いても燃焼が正常にならない場合は自動的に運転を停止します。)

※型式名に-Nがつく機種は自己診断機能がないため、アラーム番号“101・103・391・901・991・993”は出ません。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- 35～37ページの「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡してください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順（付近の目印等）
 - (2) 品名（例）GH-244ZW
（ガスの種類例えば13A）
 - (3) 現象（故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく）
 - (4) 訪問ご希望日

保証について

- この給湯暖房用熱源機には保証書が付いています。必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の保有期間は製造打切り後10年です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整・改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、機器本体の排気口からの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りのガス会社へお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。
（水抜き方法は、30ページを参照してください）
 - (4) 電源プラグを抜きます。

仕様一覧

〔仕様表〕

項 目		内 容				
品 名		GH-244ZW GH-244ZWH	GH-244ZT GH-244ZTH	GH-244ZB GH-244ZBH	GH-244ZU GH-244ZUH	GH-244ZK GH-244ZKH
型 式 名		GH-244ZW (-N)	GH-244ZT (-N)	GH-244ZB (-N)	GH-244ZU (-N)	GH-244ZK
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅480×奥行250×高さ750/38				
種 類	給湯方式	先止め式				
	暖房方式	温水循環方式				
設 置 方 式	給排気方式	屋外強制排気方式				
		屋外設置形				
点火方式		給湯・暖房				
AC100V連続放電式(ダイレクト着火)						
水 圧	使用水圧	80～500kPa(0.8～5.0kgf/cm ²)				
	最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)				
循環作動室	給湯	3.5ℓ/分				
	暖房	0ℓ/分以上(締切り使用可)				
電 気	消費電力	定 格				
	凍結予防作動時	ZW, ZWH:320/350W ZT, ZB, ZU, ZK, ZTH, ZBH, ZUH, ZKH:360/390W ZW, ZT, ZB, ZU, ZK, ZWH, ZTH, ZBH, ZUH, ZKH:415/440W				
接 続	ガス	20A(R3/4オネジ)				
	給水・給湯	20A(R3/4オネジ)				
	暖房	低温往き	ZW, ZT, ZB, ZU, ZK:QF16ジョイント ZWH, ZTH, ZBH, ZUH, ZKH:CHジョイント(6P)			
		高温往き	QF16ジョイント			
	戻り	QF16ジョイント				
続	ふろ	QF16ジョイント				
	オーバーフロー	15A(R1/2オネジ)				
電 気		本体電源 AC100V(50/60HZ)				
		浴室リモコン2心、台所リモコン2心				
安 全 装 置		ファン回転検出装置(回転検出方式) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 立消え安全装置(フレイムロッド方式) 漏電安全装置(漏電リレー) 残火安全装置(バイメタル式) 誘導雷保護装置(サージアブソーバー) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) 空だき安全装置(バイメタル式) 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ) 沸騰防止装置(バイメタル)				

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			給湯能力 (号) 給湯	出湯能力kW{kcal/h}		ガス 接続	
		最大	給湯	暖房		追いだき	暖房		
都市ガス	13A	69.5{59,800}	52.3{45,000}	17.2{14,800}	24.0	8.72{7,500}	14.0{12,000}	20A (R3/4)	
	12A	64.8{55,700}	48.8{42,000}	16.0{13,800}	22.4	8.72{7,500}	13.0{11,200}		
	6A	66.3{57,000}	52.3{45,000}	17.2{14,800}	24.0	8.72{7,500}	14.0{12,000}		
	5C	61.6{53,000}	52.3{45,000}	17.2{14,800}	24.0	8.72{7,500}	14.0{12,000}		
	L1	7C	66.3{57,000}	52.3{45,000}	17.2{14,800}	24.0	8.72{7,500}		14.0{12,000}
		6B							
		6C							
	L2	5A							
		5B							
		5AN							
	L3	4A							
		4B							
		4C							
LPガス		69.7{4.98kg/h}	52.5{3.75kg/h}	17.2{1.23kg/h}	24.0	8.72{7,500}	14.0{12,000}		

◎ ガス:JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎ 出湯能力は、水圧200kPa {2kgf/cm²} のときで、温度を高め設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

〔仕様表〕

項 目		内 容				
品 名		GH-S245ZW	GH-S245ZT	GH-S245ZB	GH-S245ZU	GH-S245ZK
		GH-S245ZWH	GH-S245ZTH	GH-S245ZBH	GH-S245ZUH	GH-S245ZKH
型 式	名	GH-S245ZW (-N)	GH-S245ZT (-N)	GH-S245ZB (-N)	GH-S245ZU (-N)	GH-S245ZK
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅480×奥行300×高さ750/48				
種 類	給湯方式	先止め式				
	暖房方式	温水循環方式				
	給排気方式	屋外強制排気方式				
	設置方式	屋外設置形				
点火方式	給湯・暖房	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)				
水圧	使用水圧	80～500kPa(0.8～5.0kgf/cm ²)				
	最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)				
暖房動作空	給湯	3.5ℓ/分				
	暖房	0ℓ/分以上(締切り使用可)				
	ふろ	4.5ℓ/分				
電気	消費電力	ZW, ZWH:320/350W ZT, ZB, ZU, ZK, ZTH, ZBH, ZUH, ZKH:360/390W				
	凍結予防作動時	ZW, ZT, ZB, ZU, ZK, ZWH, ZTH, ZBH, ZUH, ZKH:415/440W				
接 続	ガス	20A(R3/4オネジ)				
	給水・給湯	20A(R3/4オネジ)				
	暖房低温往き	ZW, ZT, ZB, ZU, ZK:QF16ジョイント ZWH, ZTH, ZBH, ZUH, ZKH:CHジョイント(6P)				
	暖房高温往き	QF16ジョイント				
	暖房戻り	QF16ジョイント				
	ふろ	QF16ジョイント				
続	オーバーフロー	15A(R1/2オネジ)				
	電気	本体電源 AC100V(50/60HZ) 浴室リモコン2心、台所リモコン2心				
安 全 装 置		ファン回転検出装置(回転検出方式) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 立消え安全装置(フレイムロッド方式) 漏電安全装置(漏電リレー) 残火安全装置(バイメタル式) 誘導雷保護装置(サージアブソーバー) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) 空だき安全装置(バイメタル式) 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ) 沸騰防止装置(バイメタル)				

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			給湯能力 (号) 給湯	出湯能力kW{kcal/h}		ガス 接続	
		最大	給湯	暖房		追いだき	暖房		
都市ガス	13A	68.7{59, 100}	52.3{45, 000}	16.4{14, 100}	27.6	8.72{7, 500}	14.0{12, 000}	20A (R3/4)	
	12A	64.1{55, 200}	48.8{42, 000}	15.3{13, 200}	25.8	8.72{7, 500}	13.0{11, 200}		
	6A	65.5{56, 300}	52.3{45, 000}	16.4{14, 100}	27.6	8.72{7, 500}	14.0{12, 000}		
	5C	60.8{52, 300}	52.3{45, 000}	16.4{14, 100}	27.6	8.72{7, 500}	14.0{12, 000}		
	L1	7C	65.5{56, 300}	52.3{45, 000}	16.4{14, 100}	27.6	8.72{7, 500}		14.0{12, 000}
		6B							
		6C							
	L2	5A							
		5B							
		5AN							
	L3	4A							
		4B							
4C									
LPガス		69.0{4.93kg/h}	52.3{3.75kg/h}	16.5{1.18kg/h}	27.6	8.72{7, 500}	14.0{12, 000}		

◎ ガス: JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎ 出湯能力は、水圧200kPa {2kgf/cm²} のときで、温度を高め、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎ 本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

長くお使いいただくために

仕様一覧

〔仕様表〕

項	目	内容
品名	GH-244AW GH-244AWH	GH-244AT GH-244ATH
型式名	GH-244AB GH-244ABH	GH-244AU GH-244AUH
	GH-244AK GH-244AKH	GH-244AK
外形寸法(mm)/質量(kg)	幅480×奥行250×高さ750/38	
種給湯方式	先止め式	
類暖房方式	温水循環方式	
給排気方式	屋外強制排気方式	
設置方式	屋外設置形	
点火方式	給湯・暖房	AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
水圧	使用水圧	80~500kPa(0.8~5.0kgf/cm ²)
	最低作動水圧	10kPa(0.1kgf/cm ²)
暖房動作	給湯	3.5ℓ/分
	暖房	0ℓ/分以上(締切り使用可)
	ふろ	4.5ℓ/分
電気	消費電力	AW, AWH: 320/350W AT, AB, AU, AK, ATH, ABH, AUH, AKH: 360/390W
	定格凍結予防作動時	AW, AT, AB, AU, AK, AWH, ATH, ABH, AUH, AKH: 415/440W
接続	ガス	20A(R3/4オネジ)
	給水・給湯	20A(R3/4オネジ)
	暖房	ZW, ZT, ZB, ZU, ZK: QF16ジョイント ZWH, ZTH, ZBH, ZUH, ZKH: CHジョイント(6P)
	低溫往き	QF16ジョイント
	高温往き	QF16ジョイント
	戻り	QF16ジョイント
	ふろ	QF16ジョイント
続	オーバーフロー	15A(R1/2オネジ)
	電気	本体電源 AC100V(50/60Hz) 浴室リモコン2心、台所リモコン2心
安全装置	フェン回転検出装置(回転検出方式) 過熱防止装置(温度ヒューズ) 立消え安全装置(フレイムロッド方式) 漏電安全装置(漏電リレー) 残火安全装置(バイメタル式) 誘導雷保護装置(サージアブソーバー) 過圧防止安全装置(スプリング式) 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転) 空だき安全装置(バイメタル式) 過電流安全装置(ガラス管ヒューズ) 空だき防止装置(水量センサー・水流スイッチ) 沸騰防止装置(バイメタル)	

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ		1時間あたりのガス消費量kW{kcal/h}			給湯能力 (号) 給湯	出湯能力kW{kcal/h}		ガス 接続	
		最大	給湯	暖房		追いだき	暖房		
都市ガス	13A	69.5{59,800}	52.3{45,000}	17.2{14,800}	24.0	8.72{7,500}	14.0{12,000}	20A (R3/4)	
	12A	64.8{55,700}	48.8{42,000}	16.0{13,800}	22.4	8.72{7,500}	13.0{11,200}		
	6A	66.3{57,000}	52.3{45,000}	17.2{14,800}	24.0	8.72{7,500}	14.0{12,000}		
	5C	61.6{53,000}	52.3{45,000}	17.2{14,800}	24.0	8.72{7,500}	14.0{12,000}		
	L1	7C	66.3{57,000}	52.3{45,000}	17.2{14,800}	24.0	8.72{7,500}		14.0{12,000}
		6B							
		6C							
	L2	5A							
		5B							
		5AN							
	L3	4A							
		4B							
4C									
LPガス		69.7{4.98kg/h}	52.5{3.75kg/h}	17.2{1.23kg/h}	24.0	8.72{7,500}	14.0{12,000}		

◎ ガス: JISに規定する標準ガス、標準圧力のとき。

◎ 出湯能力は、水圧200kPa {2kgf/cm²} のときで、温度を高めに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎ 本仕様は改良のためお知らせずに変更することがあります。

メモ

販売店名